

なりたの教育

令和7年度



「こども体験学習セミナー（なりた冒険塾）」（左上）
「栄養教諭による食に関する指導」（右上）
「書道・陶芸・絵画展（生涯大学院）」（左下）
「成人式の様子」（右下）

成田市教育委員会

成田市民憲章

昭和46年11月3日制定

信仰のまち、世界に通ずるまち成田はわたくしたちのふるさとです。
ゆたかな自然と文化にめぐまれてきたわたくしたち成田市民は、大きな希望と誇りをもって世界に伸びようとしています。
わたくしたちは、成田のかがやかしい発展とおたがいのしあわせをねがい、この市民憲章をさだめます。

- 1 親切な心で
平和な成田をつくりましょう。
- 1 よろこんで働き
豊かな成田をつくりましょう。
- 1 きまりをまもり
住みよい成田をつくりましょう。
- 1 自然と文化を大切にし
美しい成田をつくりましょう。
- 1 若い力をそだて
明るい成田をつくりましょう。

成田市の教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱

成田市教育大綱

成田市教育大綱は、本市の教育に関する基本的な方針として策定したものであり、子どもたちの「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育みながら個々の能力を伸ばし、将来に夢と希望を持って自分の進むべき道を切り拓く力となるため、更には生涯を通して市民一人一人の能力や意欲を伸ばし、明るく、心豊かで、生涯を通じて学ぶことができるまちづくりを目指し、本市の教育の振興に関する施策の「大綱」として策定したものです。

平成28年6月策定
成田市長 小泉一成

基本理念

育てよう 心とからだ 学び合い みんなで築く 成田の未来

成田の教育において、未来を担う子どもたちの知識や技能の習得、更には人として大切な心を育み、健康で明るい人づくりを目指します。また、市民一人一人の能力や意欲を伸ばし、夢を実現できる生涯学習の形成と成田の歴史・文化を次代に継承し、世界に誇れる「成田の未来」をみんなでつくり上げ、成田を愛する心を育みます。

基本目標

- (1) 社会を生き抜く力を育む
- (2) 伝統・文化の理解と国際性を育む
- (3) 豊かな心・道徳性・規範意識を育む
- (4) よりよい学校教育環境づくりを進める
- (5) 様々な困難を抱えた子どもたちへの支援を充実する
- (6) 社会の変化に対応した教育を推進する
- (7) 生涯を通じた学習やスポーツに親しむ環境を推進する

はじめに

成田市教育委員会

教育長 日 暮 美智子

本市では、総合的な施策の根本を定めた「成田市教育大綱」を具現化するため、「成田市学校教育振興基本計画」に基づき学校教育の推進を図り、「成田市生涯学習推進計画」に基づき生涯学習の推進に努めております。両計画の計画期間が令和7年度末をもって終了となることから、2つの計画を統合し、教育分野に関する施策を総合的かつ体系的に進めていくことを目的とした「成田市教育振興基本計画」の策定に取り組んでおります。10年後の未来を見据えた計画となるよう、アンケート調査等とおして幅広い年代からの意見を伺うとともに、有識者や学校関係者、地域や保護者代表等からなる策定委員会での助言をもとに策定を進めております。

本市の児童生徒数は、令和7年5月1日現在、小学生6,064名、中学生3,472名、合計9,536名が市立小中義務教育学校に在籍しています。10年前と比べると、この数は、中学生は大きな変化は見られませんが、小学生は約1,400名減少となっています。市内では新たに開発が進む地域において児童生徒数は全体として増加傾向にありますが、地域によっては少子化や過疎化の進行により減少傾向にあるところも見られ、学校規模の違いが大きくなっています。そのような中、どの学校においても、地域の特色を生かした学校づくりを進め、学力の向上とともに、豊かな人間性を培うため、教育課程の編成に創意工夫を凝らしています。教育委員会では、これらの学校の支援を目的に、本年度も引き続き、外国人英語講師（ALT）や学校図書館司書を全校に配置する他、学校の実情に応じて、学校サポート教員や健康推進教員、特別支援教育支援員、養護補助員、日本語教育補助員など、市費負担教職員の配置を行ってまいります。

また、学校部活動の地域展開を円滑に進めるため、関係者で構成する協議会を設置いたしました。令和5年から開始したモデル事業を段階的に拡げ、令和7年9月からは第3期モデル事業として、30を超える地域クラブが設立され、休日の活動が開始するとともに、地域の指導者との連携を進めております。「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」という基本理念のもと、地域クラブを立ち上げ、持続可能で多様な環境の整備に鋭意努力してまいります。

あわせて、全ての小中義務教育学校に学校運営協議会を導入し、「コミュニティ・スクール」としての学校運営を推進することにより、地域と学校が連携し一体となって、未来の創り手となる子どもたちの育成を目指してまいります。

生涯にわたる学びにおいては、市民の主体的な学びの充実に重点を置き、本年度も、引き続き、明治大学・成田社会人大学や、成田市生涯大学院を開設いたします。また、多くの皆さまにご利用いただいている公民館については、適切な情報発信を行うとともに、市民の活動拠点としての利便性を高めた公民館運営に努めてまいります。さらに、市立図書館では、蔵書の提供に留まらず、市民の多様な関心に応える様々なジャンルの講座の開催や、関係機関との連携に取り組むなど、地域に根差した知の交流拠点として、市民と共につくる図書館を目指してまいります。

目 次

成田市の概要	1
1 沿革	1
2 位置・面積	1
3 人口・世帯数	1
教育委員会の概要	2
1 教育委員会	2
2 教育長・教育委員	2
3 事務局の組織・事務分掌	3
4 教育費	4
(1) 令和7年度の一般会計予算と教育費	4
(2) 平成27年度以降の一般会計決算総額に占める教育費の割合	4
(3) 令和7年度教育費の各種内訳	5
5 令和7年度教育委員会の主要事業	6
学校教育振興基本計画に基づく学校教育の推進	6
(1) 小中連携・一貫教育の推進	6
(2) 確かな学力と豊かな心の育成	8
(3) 国際教育・英語教育の充実	9
(4) 生徒指導・教育相談の充実	10
(5) 読書指導・学校図書館の充実	11
(6) 教職員の働き方改革	11
(7) 学校施設整備事業	11
生涯学習推進計画に基づく生涯学習の推進	12
(1) 明治大学・成田社会人大学	12
(2) 生涯大学院	13
(3) 家庭教育学級	13
(4) 放課後子ども教室	13
(5) 子どもの読書活動の推進	14
(6) 学校支援地域本部事業	14
(7) コミュニティ・スクール（学校運営協議会）	14
学校教育	15
1 施策の概要	15
(1) 教職員の資質向上	15
(2) 特別支援教育の推進	15
(3) スクールカウンセラー・小学校教育相談員の効果的な活用と充実	15
(4) 学校体育の充実	16
(5) 安全教育の推進	16
(6) 情報教育の推進	17
(7) 学校施設の管理と整備	17

(8) 特色ある学校づくりへの支援.....	17
(9) 学校問題解決支援事業.....	17
(10) 特認校支援事業.....	18
2 教育センター.....	19
(1) 学校支援の推進.....	19
(2) 特別支援教育の推進.....	19
(3) 教育相談.....	19
(4) 社会科副読本「わたしたちの成田市」等の作成、配布.....	19
3 教育支援センター（ふれあいるーむ21）.....	20
4 各学校・幼稚園の特色.....	21
5 学校給食センター.....	36
(1) 食に関する指導の充実.....	36
(2) 献立の充実.....	36
(3) 衛生管理の推進.....	36
(4) 地域との連携.....	37
(5) 給食施設の整備.....	37
(6) 学校給食費無料化.....	38
(7) 食物アレルギー児等学校給食費相当額助成.....	38
生涯学習	39
1 施策の概要.....	39
(1) 生涯学習の推進.....	39
(2) 家庭教育の充実.....	40
(3) 成人教育の充実.....	40
(4) 青少年教育の充実.....	40
(5) 社会教育関係団体活動の支援.....	42
(6) 文化財の保護.....	42
(7) 令和7年度 生涯学習課事業計画.....	44
2 公民館.....	46
(1) 魅力ある公民館活動の推進.....	46
(2) サークルの育成・活用の推進.....	46
(3) 公民館ボランティア推進事業.....	46
(4) こども体験学習セミナー.....	46
(5) 広報活動の充実.....	46
(6) 令和7年度 公民館主催教室・講座計画.....	47
(7) 令和6年度 公民館利用状況.....	48
3 図書館.....	49
(1) 図書館サービスの充実.....	49
(2) 子どもの読書活動の推進.....	50
(3) 公津の杜分館・公民館図書室等によるサービス.....	51
(4) 障がい者サービス.....	51
(5) 令和7年度 図書館事業計画（抜粋）.....	51
(6) 令和6年度 図書館資料点数及び利用状況.....	52

資料編	53
成田市教育略年表.....	53
歴代教育長及び教育委員	56
市立学校の児童生徒数の推移.....	56
市立学校・幼稚園一覧.....	57
社会教育施設一覧.....	58
学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧.....	59
市内指定文化財等一覧.....	60
市内大学・高等学校・私立小中学校・私立幼稚園・私立認定こども園	63

成田市の概要

1 沿革

成田市は昭和２９年に、町村合併促進法に基づき、成田町、公津村、八生村、中郷村、久住村、豊住村、遠山村の１町６村が合併して誕生しました。そして、平成１８年３月に下総町、大栄町との合併により新しい成田市が誕生しています。

全国屈指の霊場成田山新勝寺と、宗吾霊堂を中心に門前町として古くから栄え、また、水と緑に恵まれた本市は、約3万年前から人々が生活を始めていたことが知られています。

今、成田市は、霊場と田園が醸し出す「静」と、近代文明の粋を集めた空港が持つ「動」の2つを兼ね備えた特色ある都市として、着実な歩みを続けています。

2 位置・面積

成田市は、千葉県の北部中央に位置し、北は利根川、西は印旛沼に接し、東南は広大な北総大地が続いています。

面積は、213.84km²です。



3 人口・世帯数

人口は、男性66,538人、女性66,963人、合計133,501人で、68,535世帯となっています。

(令和7年4月末現在)

教育委員会の概要

1 教育委員会

教育委員会は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地方教育行政を処理するため、長（首長）から独立した行政委員会としての執行機関として設置されています。

教育委員会は、教育長と4名の委員により組織されています。いずれも長（首長）が市議会の同意を得て任命しており、任期は教育長が3年、委員が4年と定められています。

教育長は、教育委員会の会務を総理し、会議を主宰するとともに、その権限に属する全ての事務をつかさどります。また事務局の事務を統括し、所属職員を指揮監督する役割を担い、教育委員会を代表します。

各教育委員は、教育長に対するチェック機能を果たすため、会議の招集を請求できるほか、教育長が委任された事務の管理・執行状況について報告を求めることが可能となっています。

また、平成27年4月1日に施行された同法の改正により、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置、教育委員によるチェック機能の強化などの改革が行われました。さらに市長と教育委員会が教育行政の大綱や重点施策について協議・調整し、市の教育施策の方向性を共有しながら効果的な行政推進を図るため、総合教育会議が新たに設置されています。

なお、教育委員会会議は原則として毎月1回開催しており、必要に応じて臨時会を開催しています。

2 教育長・教育委員



教 育 長
日暮美智子



教育長職務代理者
高山 勇



委 員
佐藤 勲



委 員
岡本 秀彦

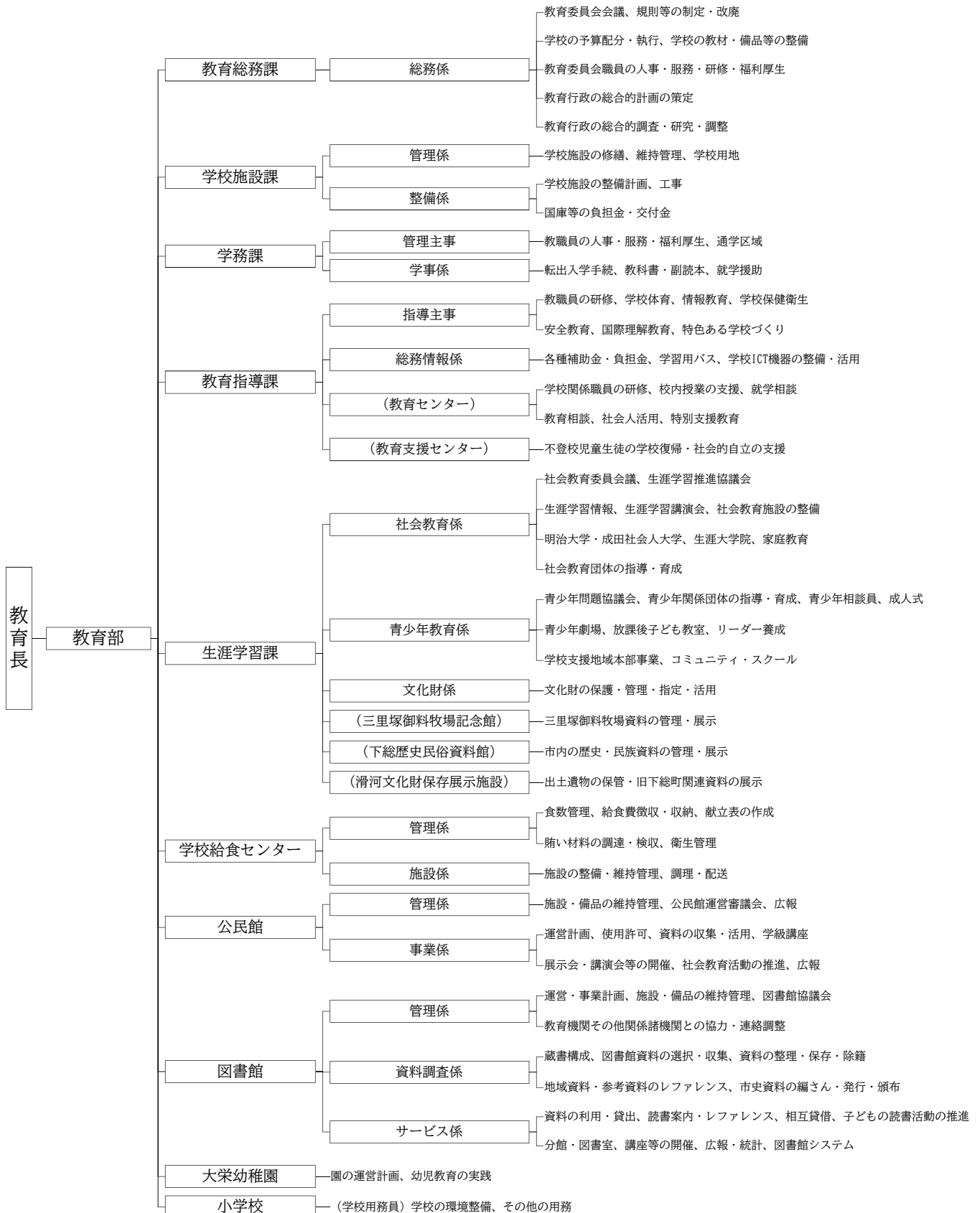


委 員
磯部 祐子

役 職 名	氏 名	教育長・委員就任日	教育長・委員の任期
教 育 長	日 暮 美智子	R 6 . 10 . 1	R 6 . 10 . 1 ~ R 9 . 9 . 30
教 育 長 職務代理者	高 山 勇	R 6 . 10 . 1	R 6 . 10 . 1 ~ R 10 . 9 . 30
委 員	佐 藤 勲	H 26 . 10 . 1	R 4 . 10 . 1 ~ R 8 . 9 . 30
委 員	岡 本 秀彦	R 1 . 10 . 1	R 5 . 10 . 1 ~ R 9 . 9 . 30
委 員	磯 部 祐子	R 7 . 10 . 1	R 7 . 10 . 1 ~ R 11 . 9 . 30

（令和7年10月1日現在）

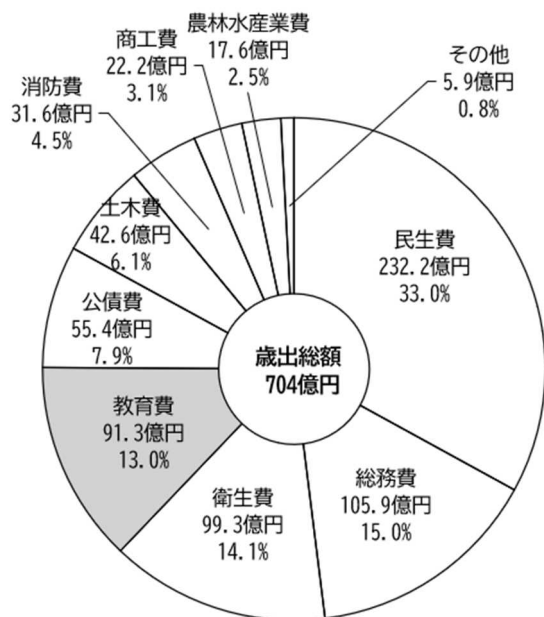
3 事務局の組織・事務分掌



(令和7年4月1日現在)

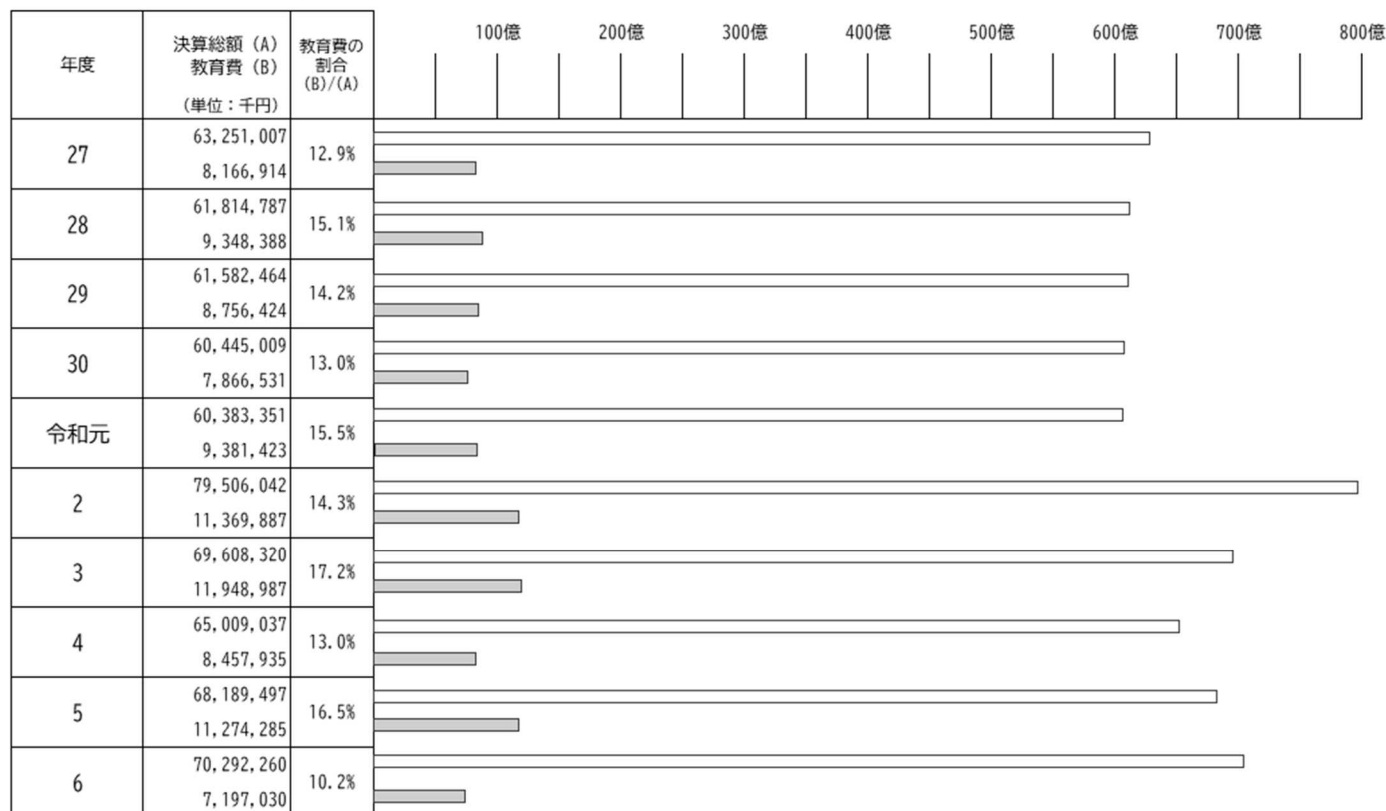
4 教育費

(1) 令和7年度の一般会計予算と教育費

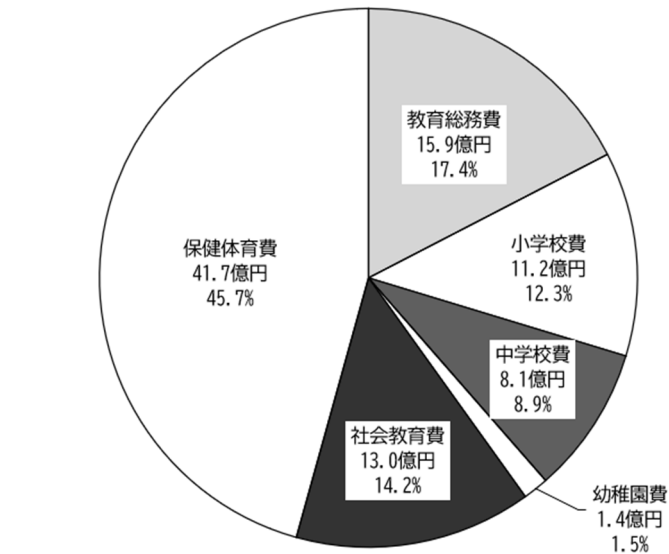


	予算額(千円)	比率(%)
議会費	446,475	0.6
総務費	10,588,790	15.0
民生費	23,223,974	33.0
衛生費	9,933,750	14.1
労働費	48,109	0.1
農林水産業費	1,755,783	2.5
商工費	2,215,850	3.1
土木費	4,261,509	6.1
消防費	3,159,304	4.5
教育費	9,129,044	13.0
災害復旧費	4	0.0
公債費	5,537,407	7.9
諸支出金	1	0.0
予備費	100,000	0.1
合計	70,400,000	100.0

(2) 平成27年度以降の一般会計決算総額に占める教育費の割合

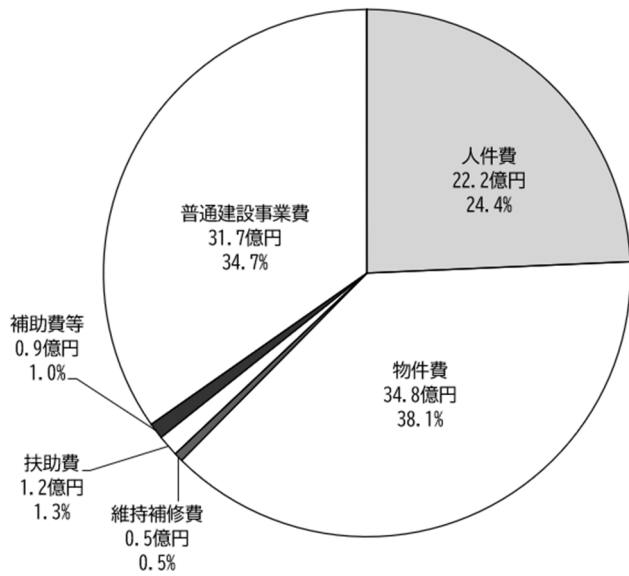


(3) 令和7年度教育費の各種内訳



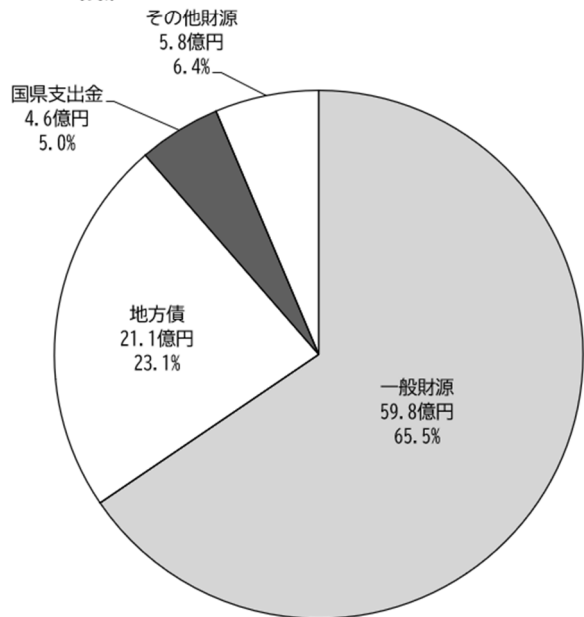
項別内訳

	予算額(千円)	比率(%)
教育総務費	1,591,386	17.4
小学校費	1,116,915	12.3
中学校費	811,375	8.9
幼稚園費	142,127	1.5
社会教育費	1,294,286	14.2
保健体育費	4,172,955	45.7
合 計	9,129,044	100.0



性質別内訳

	予算額(千円)	比率(%)
人 件 費	2,223,999	24.4
物 件 費	3,477,955	38.1
維持補修費	48,903	0.5
扶 助 費	120,697	1.3
補 助 費 等	87,361	1.0
普通建設事業費	3,170,029	34.7
積 立 金	100	0.0
合 計	9,129,044	100.0



財源内訳

	予算額(千円)	比率(%)
一 般 財 源	5,978,180	65.5
地 方 債	2,113,800	23.1
国 県 支 出 金	457,201	5.0
そ の 他 財 源	579,863	6.4
合 計	9,129,044	100.0

5 令和7年度教育委員会の主要事業

学校教育振興基本計画に基づく学校教育の推進

今日、少子高齢化の進行や高度情報化、グローバル化の進展などの社会情勢の大きな変化に伴い、教育を取り巻く状況においても、学力向上、道德教育の充実、いじめや不登校の防止、教員の資質の向上や幼児教育の充実、家庭教育への支援、情報化への対応など、多くの課題があります。

本市ではこれまで、「成田市学校教育長期ビジョン」（平成13年度～平成27年度）のもとに、子どもたちの確かな学力や豊かな心など「生きる力」の育成を目指して、国際理解教育、英語教育、特別支援教育、情報教育、職業観を育むためのキャリア教育などに取り組むなど、特色ある教育を推進してきました。

これらの成果を受け継ぐとともに、現代の急激な社会情勢の変化に柔軟に対応し、夢の実現に向けてたくましく生きる子どもたちの育成を目指して、学校・家庭・地域社会が連携して、それぞれの学校や地域で創意工夫し、特色ある教育を推進していくための指針として、平成28年3月に、成田市学校教育振興基本計画「輝くみらいNARITA教育プラン」を策定しました。

これは、教育基本法第17条第2項に基づく「成田市の教育の振興のための施策に関する基本的な計画（教育振興基本計画）」として策定したもので、本市の学校教育の現状と課題を踏まえ、策定後10年間（平成28年度～令和7年度）に、本市が目指す学校教育のあり方について基本的な方向性を示したものです。

この計画では、子どもたちの「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育みながら個々の能力を伸ばし、将来に夢と希望を持って自分の進むべき道を切り拓く力を育むため、「子どもの多様な個性 能力を伸ばし 未来をひらく力を育む」を基本理念に定め、社会が大きく変化する中で、子どもたちが将来、自立した個人として未来を切り拓き、豊かな人生を送ることができるよう、個々の多様な特性や能力を生かした教育を推進します。

この基本理念の実現を目指し、次の6つの基本目標をもとに、各施策の推進を図ります。

第一に、社会を生き抜く力を育む。

第二に、伝統・文化の理解と国際性を育む。

第三に、豊かな心・道德性・規範意識を育む。

第四に、よりよい学校教育環境づくりを進める。

第五に、様々な困難を抱えた子どもたちへの支援を充実する。

第六に、社会の変化に対応した教育を推進する。

（1）小中連携・一貫教育の推進

小中連携教育とは、義務教育9年間を通して目指す児童生徒像を小中学校の教職員が共有し、一人ひとりの子どもの成長に一層着目した一貫性のある指導を展開することで、「生きる力」を育む教育の質的な向上を目指すものです。

本市では、平成9年度から生徒指導の充実を図ることを目的に、中学校区で定期的な情報交換から取組を開始し、平成19年度からは小中学校で共通の学習のきまり及び生活のきまりを設定し、これに基づく共通した指導を行うこととともに、合同の行事等を通して児童生徒間の交流を図るなど、

中学校区の特色を生かした効果的な連携教育を推進してきました。

このような中、学校適正配置の取組による学校の新設、統廃合が進み、平成25年度にはニュータウン地区の一部において学区が再編され、中学校区が変更となりました。

以上を踏まえ、今後は将来を見据えた小中連携教育を、下記の内容に基づいて計画的かつ継続的に実践していきます。

- ① 中学校区で目指す児童生徒像を設定し、小中連携教育を推進します。
- ② 中学校区校長会議を定期的に実施し、学区内の実態把握、情報交換を図ります。
- ③ 生徒指導担当者会議を定期的に開催し、生徒指導の充実を図ります。
- ④ 中学校区教職員の相互研修による授業公開を促進し、学習指導の共通理解を図ります。
- ⑤ 児童生徒が交流する行事や活動を設け、児童生徒間の相互理解を図ります。
- ⑥ 小中連携教育の実態を地域に発信し、地域、保護者の理解を深めていきます。

この小中連携教育をさらに進めた教育方法として、小中一貫教育があります。本市においては、9年間が途切れることのない一貫した教育課程による教育を小中一貫教育ととらえています。

平成26年4月に開校した下総小学校は、下総中学校との一貫教育を開始し、小学生と中学生が一つの施設で学ぶ施設一体型の小中一貫校としての実践を積み重ねてきました。その間に、学校教育法の一部を改正する法律が平成28年4月1日に施行され、これまでの小学校、中学校に加え、義務教育学校が新たな校種として位置付けられました。本市ではこのことを受けて、成田市立下総小学校と成田市立下総中学校を、施設一体型小中一貫校である義務教育学校「成田市立下総みどり学園」として、平成29年4月1日より新たに設置しました。修業年限は9年間とし、学年区分は前期（1～4学年）、中期（5～7学年）、後期（8・9学年）の3区分とし、5学年から教科担任制による授業を行うとともに、児童生徒の交流授業、共通行事を実施しています。

また、令和3年4月1日に開校いたしました「成田市立大栄みらい学園」においても、「成田市立下総みどり学園」の教育活動の成果を基に施設一体型義務教育学校として、小中一貫教育を進めています。

このような小中一貫教育を展開することは、義務教育9年間を見通し、学校種を超えた教育活動を一層進めることとなります。教職員においては、小学校籍や中学校籍という壁がなくなり、免許を有していれば、1年生から9年生までの学級担任を持つことが可能となります。中期学年における連続した指導が可能となることで、中学校入学時の不安や心理的格差の解消を図るとともに、小中学校の教員が相互に指導に関わり、よりきめ細かい指導と専門性を生かした指導をすること、また児童生徒の交流により、よりよい人間関係の形成が目指せるものと考えています。

今後は、義務教育学校での教育活動の成果を積極的に小中連携教育に取り入れ、中学校区で特色ある学校づくりを進めていきます。

また、小中連携を充実させるために、市内全ての学校で、義務教育9年間で子どもを育てるという視点で教育活動が展開できるよう、教職員の意識改革に取り組んでいます。

(2) 確かな学力と豊かな心の育成

子どもたちに「確かな学力」が定着し、さらに一層の向上が図れるよう、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」を確実に身に付けさせ、粘り強く学習に取り組み、自ら学習調整を行いながら、よりよく問題を解決できるよう努めるとともに、主体的・対話的で深い学びの実現を目指しています。

少人数指導・習熟度別指導など、個に応じたきめ細かな指導を積極的に推進するとともに、体験活動や問題解決の過程を工夫した学習活動を充実させることで、子どもたちが相互にかかわり合い、学ぶ楽しさを実感できる学校づくりを進めています。

中学校3年生・義務教育学校9年生以外の全児童・生徒を対象に成田市学力調査を実施し、経年での学習状況の変化などに詳しい学習状況の把握に努め、児童・生徒個々の実態に応じたきめ細かい学習支援を実施しています。

また、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの「豊かな心」を育むために、考え、議論する道德教育の充実、学校・家庭・地域が連携した体験活動への積極的な参加、充実した読書活動を推進しています。

これらの実現のために、教職員の指導力向上を目指した研修会支援や、市教育委員会主催各種実践研修にも計画的に取り組んでいます。

さらに、平成28年度から指導者用デジタル教科書の整備を開始し、現在では児童・生徒用タブレット端末でも学習者用デジタル教科書の運用を行うなど、ICTを取り入れた授業が市内全校で展開されています。これにより授業の質の改善が図られるとともに、児童・生徒の主体的に学習に臨む姿勢がこれまで以上に様々な場面でみられるようになりました。

市内の学校には、学校サポート教員及び小規模学校支援教員（※）、養護教諭の資格をもつ健康推進教員を配置し、学力の向上を目指し少人数学習を中心とした指導方法の工夫改善に努めるとともに、教育相談・生徒指導面におけるきめ細かな指導体制を強化し、児童生徒一人ひとりのニーズや個性に応じた教育の一層の実現に努めます。本年度は学校サポート教員を37名、小規模学校支援教員を2名、健康推進教員を7名、合わせて46名を配置しています。



学校サポート教員の配置

このことから、本務教員と学校サポート教員及び小規模学校支援教員が連携してチーム・ティーチングや学級・学年を分割して授業を行うことにより、習熟度別・課題別学習を実施し、児童生徒の実態に応じて発展的な学習や補充的な学習などを実施することが可能となります。また、総合的な学習の時間における問題解決学習や様々な体験的学習を行う上でも人的な支援・援助ができるため、より充実した児童生徒の活動を展開することができます。このような授業方法の工夫改善により「楽しい授業・わかる授業」を実現し、個に応じた指導の充実を図るとともに、基礎学力の定着を図ります。

また、健康推進教員の配置により児童生徒の心身のさらなるケアに努めています。様々な悩みを抱えて生活している児童生徒に対し、「心の居場所」としての保健室の機能をより高めるため、児童生徒

数の多い学校を中心に配置し、心身両面からの支援を行っています。

※小規模学校支援教員…複式学級を2学級以上有する小学校に配置

(3) 国際教育・英語教育の充実

国際空港都市成田の将来を担う児童生徒に、国籍などの違いにかかわらず、誰もが社会の構成員であることを学び、異文化理解などの国際性や英語によるコミュニケーション能力を育むために、全国でも先進的に取り組んできた国際教育・英語教育の一層の充実を図ります。

平成15年度から内閣府の構造改革特区制度を活用して取り組んできた「国際教育推進特区」は、平成20年度から文部科学省の「教育課程特例校」として継続しています。

これにより全国では小学校3年生から開始される英語教育を、市内の全小学校及び義務教育学校前期課程では1年生から開始し、1～4年生で0.5単位時間を週2回、5・6年生で0.5単位時間を週2回と1単位時間を週1回、計3回の英語科授業を実施しています。全中学校及び義務教育学校後期課程では、年間標準時数140時間の英語科授業を1年生は15時間拡充し155時間、2・3年生は18時間拡充し158時間実施しています。拡充した英語科授業では、通常授業で身に付けた知識・技能を活用した自己表現活動をすることで、自分の思いや考えを表現する力をさらに高めることをねらっています。

また、外国人英語講師（ALT）を各学校に配置し、小学校及び義務教育学校前期課程では市が独自に作成している「小学校英語科標準年間指導計画」をもとに、全ての英語科授業で日本人教師とALTとのチーム・ティーチングによる指導を行っています。中学校及び義務教育学校後期課程においても、ALTを各学校に配置し、英語科授業や学校生活全般を通して、外国人の話す英語に触れる機会を多く設けています。教育委員会に常駐している主任外国人英語講師2名がALTに指導・助言を行い、チーム・ティーチングのレベルアップを図っています。

さらに、英語教育に関する検討委員会を開催し、大学教授等、英語教育の専門家から広く意見を聞き、本市の英語教育の方向性を検討し、市で独自に作成している「小学校年間指導計画」及び「中学校拡充英語指導案」の見直しを毎年行っています。また、市独自で実施している英語科アンケートや効果測定、成田市学力調査等で児童生徒の9年間の変容を観察し、英語科研究推進事業や日本人教員向け研修等に生かしています。今後も、英語科授業や様々な教育活動を通して、国際教育・英語教育を推進します。



ALTとのチーム・ティーチング

(4) 生徒指導・教育相談の充実

生徒指導は、学校の教育目標を達成するための重要な機能の一つであり、児童生徒一人ひとりの個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的としています。

そのために、共感的な人間関係の育成を基本に、生徒指導の機能を生かした、児童生徒が自己存在感の感受、わかる授業づくり、自己決定の場の提供、多様性を認め合い安心して授業や学校生活を送れるような風土づくりに努めています。

暴力行為、いじめ、携帯電話等に関わるトラブル、不登校、児童生徒の問題行動等については、原因や背景は個々の事例により様々であり、学校・家庭・地域社会それぞれの要因が複雑に絡み合っているのが現状です。いじめについては、学校いじめ防止基本方針に基づく対応並びに本市いじめ問題対応マニュアルの活用を図り、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めるとともに、SOSの出し方に関する教育と教育相談体制の充実を図っています。

また、指導主事が積極的に学校を訪問し、問題解決に向けた支援や対応をともに考えていくとともに、生徒指導主事（主任）研修会の充実を図っています。「中学校区小中学生指導連絡会」を実施し、小中学校間の連携の充実を図るとともに、庁内関係課、児童相談所、北総地区少年センター、警察等の関係機関との連携をより一層強化しています。

不登校対策としては、教育センターに臨床心理士の資格を有するカウンセラー2名を配置しており、うち1名は市内の児童生徒・保護者及び教職員を対象に教育相談を行い、児童生徒が抱える様々な悩みや不安の軽減・解消を図っています。もう1名は、教育支援センター「ふれあいるーむ21」に通う児童生徒とその保護者を対象に教育相談を行い、学校復帰や社会的自立を支援しています。

さらに、市内10校の小学校と2校の義務教育学校を拠点校として教育相談員を配置し、拠点校と近隣の小学校に在籍している児童・保護者を対象とした教育相談活動を実施し、市内全学校に配置されているスクールカウンセラーとともに保護者や子どもたちの様々な悩みや不安に対応しています。

また、家庭から出られない児童生徒の支援のために、巡回指導員を配置して家庭訪問等の支援を行っています。

そして、令和4年度からは社会福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを市で雇用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、問題解決に向けて必要な支援を行っています。

(5) 読書指導・学校図書館の充実

学校図書館は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにし、人生をより深く生きる力を付けていく上で欠くことのできない読書活動を推進する場であり、各教科や「総合的な学習の時間」の中で課題学習や調べ学習など児童生徒の主体的な学びを支援する場として、学校の教育活動において重要な役割を担っています。

また、GIGAスクール構想に基づき1人1台タブレット端末が貸与されるようになり、デジタル社会に対応した読書環境の整備を進めています。その一例として、市立図書館の電子書籍サービスに児童生徒のタブレット端末からアクセスし、多様な読書が可能となったことにより、どのように読むかを児童生徒が主体的に選択できるようになりました。さらに、令和6年度より蔵書管理システムのオプション機能「ぽけっと図書館」を導入したことで、児童生徒が自ら図書の検索を行うことができるようになりました。利用シーンに応じた伸縮性のある検索スタイルが実現できることから、本への興味関心をさらに広げることが期待できます。

学校図書館機能の充実のために、学校図書館司書を配置し、レファレンスサービス（参考資料や情報の提供業務）を提供するとともに、図書購入、蔵書のデータベース化など様々な環境整備の充実に取り組んでいます。

本年度も引き続き25名の学校図書館司書を、全ての学校に週2日以上配置します。子どもが主体的に読書活動を行うことができる環境づくりに向け、学校図書館司書と図書館担当教諭や市立図書館との連携をより一層強化し、学校図書館の活用の充実を図ります。

(6) 教職員の働き方改革

統合型校務支援システムは、学籍や出席簿の管理、通知表作成などの成績処理、指導要録や調査書の作成、健康診断などの保健に関する機能を持つもので、平成30年度から本格稼働しました。このシステムの導入により、教職員が子どもたちの記録を蓄積・共有・活用することができ、情報を一元管理することで、校務を効率的に進めることができます。また、各機能間で情報が連携されるため、帳票間での転記の手間やミスを削減することができ、教職員の負担を軽減することができます。

また、令和7年度に各学校がそれぞれ導入していた保護者向け連絡システムを一新し、市内統一の保護者連絡システムを導入します。これにより、市から保護者へ直接情報を届けることが可能となり、教職員の業務効率を向上させるとともに、保護者への情報伝達を迅速かつ的確に行えるようになります。

(7) 学校施設整備事業

経年により老朽化した学校施設の教育環境の改善及び建物の耐久性の確保を図るため、令和3年3月に策定した成田市学校施設長寿命化計画に基づき、老朽化が進んでいる成田小学校の改築及び遠山中学校体育館の長寿命化改修に係る実施設計を進めます。

また、体育館に熱中症対策として空調設備の整備を進めるとともに、多目的トイレの整備など近年の生活様式に対応した改修や変化する教育現場にふさわしい施設整備を実施します。

生涯学習推進計画に基づく生涯学習の推進

教育基本法の第三条では、「生涯学習の理念」を「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と定めています。

近年の社会情勢を見てみますと、少子高齢化社会の到来、急速な技術革新など、社会構造だけではなく、私たちが生活していくうえで必要不可欠となっている日常生活に関わる技術もめまぐるしく変化し、それに伴って市民の学習ニーズも多種多様化してきました。

このような状況を踏まえ、市民一人ひとりが社会情勢の変化にも柔軟に対応しながら、生涯にわたって自ら学習し、それぞれが培った様々な経験・知識・技能を地域社会に生かしていく「まちづくり」の構築を目指して、令和3年3月に「第3次成田市生涯学習推進計画」を策定しました。

本年度も引き続き、市民と連携・協働し、誰もが生涯にわたる生きがいを持ち、その成果をまちづくりに生かせるよう、「明治大学・成田社会人大学」をはじめ、「生涯大学院」、「家庭教育学級」などの開催により生涯学習機会の充実に努めます。また、放課後子ども教室による体験学習の機会の提供、子どもの読書活動の推進を図り生涯学習社会の実現に努めていきます。

（１）明治大学・成田社会人大学

高まる市民の学習ニーズに対応し、より専門的な学習機会を提供するとともに、激動する世界情勢の変化に対応できる「国際市民」を育むことを目的として、平成9年度から「明治大学・成田社会人大学」を開講しています。

また、平成14年度から、称号付与制度（修学士・教学士・弘学士）を開始し、学習意欲の向上に努めており、学習成果を「まちづくり」に生かせるよう、カリキュラム編成を行っています。

今後も、受講者のニーズに応じた実施方法を導入したり、若い世代の受講機会を提供するなど、市民が受講しやすい環境づくりに努めていきます。

【令和7年度 学習テーマ】

- 国際社会課程：揺れ動く国際情勢－戦後80年を迎える世界と日本－
- 現代時事課程：変わる日本の政治、経済、社会

（２）生涯大学院

60歳以上の人を対象として、社会環境の変化に順応していくための学習機会を提供し、高齢者が社会の担い手として能力を地域社会のために生かし、新たな生きがい創造することを目的に、2学年制による生涯大学院を開設しています。

○教養講座：成田の歴史、健康、環境問題等の一般教養（各学年 年間20回程度）

○専門講座：書道、園芸、陶芸、絵画、音楽、体操（選択制 年間15回）



教養講座（ユニセフについて）



書道・陶芸・絵画展

（３）家庭教育学級

保護者が家庭で子どもの教育を行う上で必要な心構え・対応の仕方・留意点などを、集団で意図的・継続的に学習し、望ましい保護者の在り方や子どもに対する教育の資質を高め、保護者同士が繋がることを目的に実施しています。本年度は「健康・安全」「人権・福祉」「食育」「子育て・しつけ」「読書・読み聞かせ」「地域・地域人材」を重点テーマに、市立学校29校（31学級）、幼稚園・保育園・認定こども園7学級の計38の家庭教育学級を開設します。

（４）放課後子ども教室

放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して子どもたちの活動拠点を設け、地域の方の参画により、外遊びや自主学習、スポーツ、ものづくり等の体験学習の機会を提供します。



科学教室（下総みどり学園）

(5) 子どもの読書活動の推進

「第2次成田市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境づくりを目指し、子どもの読書活動推進にかかる施策を総合的に推進します。

(6) 学校支援地域本部事業

地域住民が学校支援地域ボランティアとして、学校活動をサポートする体制を整備し、「地域とともにある学校づくり」を進めます。学校とボランティア間の連絡調整の役割を担う地域コーディネーターを各校に配置し、ボランティアによる学習支援や通学路の安全確保などの学校支援を、より効果的に行えるように取り組んでいます。これにより、教員が子どもと向き合う時間を確保し、教員の負担軽減を図ります。

(7) コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

学校運営協議会とは、教育委員会が任命した保護者や地域住民の方が一定の権限と責任をもって、学校運営に参画する仕組みのことで、学校運営協議会を導入した学校のことを「コミュニティ・スクール」といいます。

学校運営協議会委員は、「学校の応援団」として、運営とそのために必要な支援について協議します。地域の一員として自覚をもった子どもを育成するために、地域と学校が連携し一体となって、未来の創り手となる成田の子どもたちを育てます。

学校教育

1 施策の概要

(1) 教職員の資質向上

学校教育に直接携わる教職員は、児童生徒の人間形成に極めて大きな影響を与えます。このため、学習指導の工夫・改善をはじめ、学級経営の充実や生徒指導の在り方など、学び続ける教職員を支援するために各種研修会への積極的な参加を奨励します。

また、教育センターでは現場のニーズに応じて、

- 教育センター講座…今日的な課題をテーマに、指導法や対応について学ぶ
- 教育相談講座…より深い児童生徒理解を希求する
- 学校教育相談研修会…児童生徒の持つ不安や悩みなど様々な問題の解決に向けて、学校が組織的に対応する際のリーダーを育成する
- 小学校理科実技研修会…小学校教員を対象に、理科実験の基礎、観察のポイント、安全指導等について学ぶ

等の研修会を開催しています。

(2) 特別支援教育の推進

特別な支援を必要とする児童生徒の就学・教育活動を支援します。

LD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥／多動性障がい）、自閉症スペクトラムなど、障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導や支援を行います。

そのため、特別支援教育コーディネーター対象の研修会を開催し、特別支援教育コーディネーターの資質向上と校内組織の充実を目指しています。また、特別支援教育に関して専門的な知識や経験を有した特別支援教育巡回指導員4名を教育センターに配置し、学校からの要請に応じて巡回相談を実施します。

さらに、個々の障がいの種別や程度に応じた適切な教育がなされるよう、特別支援学級等に在籍する児童生徒の障がいの程度や人数に応じて、養護補助員を配置しています。本年度は41名の養護補助員を21校へ配置しています。

また、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒への支援を充実するため、平成20年度から特別支援教育支援員を配置しており、本年度は20名の特別支援教育支援員を20校へ配置しています。

(3) スクールカウンセラー・小学校教育相談員の効果的な活用と充実

市内全学校にスクールカウンセラーが配置され、さらに市として拠点となる小学校10校と義務教育学校2校に教育相談員を配置し、児童生徒へカウンセリング等を行うとともに、教職員及び保護者への助言・援助を行う等、効果的な活用とその充実を推進します。

また、教育相談員やスクールカウンセラー、関係校教職員等からなる不登校児童生徒支援ネット

ワーク連絡協議会を設置し、教育相談の理論と技能を習得し、児童生徒のもつ様々な問題解決に向けての指導力の育成を図るとともに、小中連携やフリースクールなどの外部機関との連携など、効果的な教育相談体制の確立に努めています。

(4) 学校体育の充実

児童生徒が生涯にわたり心身ともに健康で楽しく明るい生活を営むための健康の保持増進や体力の向上を図ります。近年、子どもの基礎体力の低下が叫ばれていますが、本市においても、このことを重要な課題として受け止め、児童生徒が自ら進んで体力の向上を目指した体育的諸活動の充実を推進します。

そのために、児童生徒が生涯にわたって運動に親しむための資質や能力を育むため、体育の授業の充実や教員の指導力向上を図ります。

さらに、学校プール施設の老朽化に伴い、学校外施設の活用を進め、本年度は、小学校1校と義務教育学校1校が市内水泳施設を利用し、小学校6校が民間水泳施設に委託をしています。

そのほか、運動部活動の顧問教諭による技術指導が困難な学校に対して、専門的な指導力を備えた外部指導者を派遣し、運動部活動等の更なる充実及び活性化を図ります。本年度は中学校8校に、19名の指導者を派遣しています。

令和4年度からは、「成田市『部活動の地域移行』に関する協議会」を設置し、部活動の地域移行について検討を進めており、令和5年度9月にモデル事業として、西中学校を活動場所とした柔道の地域クラブ活動を開始し、令和6年度9月からは全ての中学校と義務教育学校において、1クラブ以上が活動する第2期モデル事業を実施しました。また、令和7年度新人戦終了後より市内を4つの拠点に分け、それぞれの拠点において複数のクラブが活動する第3期モデル事業を実施し、順次35クラブを開設する予定です。

(5) 安全教育の推進

心身の発達に応じた安全教育を推進し、児童生徒の安全意識を高めるために、各校の実態に応じた学校安全計画及び危機管理マニュアルの作成、安全点検や安全に関する指導（不審者対応訓練や避難訓練の実施、交通安全教室の開催等）の充実を図ります。

また、地域や保護者との連携を図りながら、学校内外の安全教育の充実と安全管理の徹底に努めます。なお、本市では、日本スポーツ振興センター法の共済掛金を市費で全額負担するとともに、中学生の自転車通学用ヘルメット購入費の半額程度を補助します。

子どもの登下校や戸外での活動の安全性を高めるために、小学校及び義務教育学校1年児童に通学用帽子とランドセルカバーを無償配布するとともに、児童生徒の希望者に防犯ブザーを貸与します。

また、防犯・安全情報等は「なりたメール配信サービス」や市内統一の保護者連絡システムを通じて保護者に連絡します。

件名
防犯・安全情報
本文
教育委員会から地域の皆様をお願いいたします。子どもたちの下校時間になります。下校中の安全対策、見守りに御協力をお願いいたします。 児童生徒のみなさんも、交通ルールを守り、安全に下校しましょう。 成田市教育委員会 教育指導課 0476-20-1582

防犯・安全情報を配信



通学路合同点検

さらに、関係機関や関係各課と連携を図りながら、「成田市通学路交通安全プログラム」をもとに成田市通学路安全推進連絡協議会を組織し、交通安全・防犯の両面から通学路における危険箇所の改善に取り組み、より一層の登下校の安全確保を図ります。

(6) 情報教育の推進

1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを整備し、個別最適な学び・協働的な学びを充実し、授業改善につなげるよう、ICT教育の推進を図ります。

各学校に、ICT支援員や指導主事を派遣し、学習者用端末、大型ディスプレイ、デジタル教科書等の効果的な活用について、助言・指導を行い、教職員の資質や技能の向上を図ります。

また、情報セキュリティや情報モラルについては、スマートフォンやSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）上のトラブルの実態とそれを防止するための指導の在り方について、警察・専門業者・NPOなどの研究団体と協力して児童生徒、保護者への啓発を図るよう、資料の提供や研修会の開催を推進します。

(7) 学校施設の管理と整備

学校施設の保守点検や修繕をはじめ、老朽化や教育環境の変化に対応するための改修工事を計画的に行うとともに、児童生徒の増加による教室不足が想定される場合には増築工事を実施します。

また、バリアフリーに配慮した整備や温室効果ガス削減の効果が大きい太陽光発電の導入も進めています。

(8) 特色ある学校づくりへの支援

保護者・地域住民から学校運営の状況についての関心が高まり、地域とともに歩む学校づくりを推進するとともに魅力ある学校教育が求められています。また、GIGAスクール構想の実現や学習指導要領で求められる資質・能力の育成など、学校の在り方の変革が求められる中で、自主的、創造的な取組を通じ、教育活動の特色化、活性化を推進することが重要になっています。

このため、校長の裁量により、専門家を招いた授業の実施や、地域と連携したボランティア活動等の体験を行うなど、各学校のマネジメントに応じた特色ある学校経営が推進されるよう、引き続き支援を行います。

(9) 学校問題解決支援事業

学校に寄せられる様々な苦情、要望等のうち、学校の対応や取組だけでは解決が困難で、対応に法的、専門的な知識や経験を必要とする案件の問題解決を図るため、成田市学校問題解決支援チームを設置しています。

本チームは弁護士、公認心理師、精神科医等の各分野の専門家で構成し、より高度で専門的な相談体制を確立して、児童生徒をめぐる問題等が長期化、複雑化することを防止し、解決に向けて対応することにより、学校の負担軽減を図り、学校本来の役割である教育課程や生徒指導等の推進、児童生徒と向き合う時間を十分に確保できるよう学校を支援します。

また、いじめによる自殺などの重大事態が発生した場合に備えて、平成26年度からチーム内に「成田市いじめ専門部会」を設置しています。

（10）特認校支援事業

令和3年4月から豊住小学校は、「小規模特認校」となりました。少人数ならではの、きめ細かな指導や地域の特性を生かした活動など、特色ある教育を行う学校を「小規模特認校」とし、そのような環境で学びたい（子どもを学ばせたい）と希望する場合に、一定の条件のもと市内全域から通学を認めています。

豊住小学校では、これまでも恵まれた自然環境や、地域の歴史と伝統を生かした教育を推進してきましたが、「小規模特認校」となったことにより、さらに特色ある教育づくりを進めていきます。



ICTを活用した学習



英会話課外活動



全校栽培活動



全校徒歩遠足

2 教育センター

教育センターは、学校関係職員の研修、校内授業の支援、教育資料及び教材の収集・作成並びに活用、特別支援教育及び教育相談等の業務を行います。

(1) 学校支援の推進

教職員の資質向上のため、各種研修会の企画・運営や様々な教育関係情報の収集と提供を行います。また、教育センターだよりを発行し、本市の教育情報や成田市学力調査の結果や考察等を市内教職員で共有しています。

各教科・特別の教科 道徳・特別活動・総合的な学習の時間・特別支援教育等の書籍を整備して、図書の貸出しや教職員の様々な要望に対するレファレンスサービスを行うとともに、学習用資料・教材作りの支援等も行います。

(2) 特別支援教育の推進

担当指導主事と学校適応専門指導員が就学前の子どもを持つ保護者の相談にあたります。成田市では、「成田市心身障害児教育支援委員会」を年4回開催し、就学に関する専門的な意見を関係者から伺いながら、保護者と就学先についての相談を行います。教育委員会では、就学後のフォローアップとして、必要に応じて、子どもの発達の程度や適応の状況等を勘案しながら、在学中も学びの場について関係者と共通理解をしたり見直しをしたりするなど機能の拡充を目指しています。

また、通常の学級に在籍するLD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥／多動性障がい）等を含めた発達障がいなどのある子どもたちの適応上の課題等への対応について、担当指導主事、特別支援教育巡回指導員が学校に出向き、教職員や保護者への相談・支援を行います。

医療行為等が必要な児童生徒の学校生活を支援するため、教育センターに巡回看護師を4名配置しています。

(3) 教育相談

教育センターと教育支援センターに1名ずつ臨床心理士（1週間に1日程度）を配置し、担当指導主事と共に不登校等に悩む児童生徒や保護者、教師を対象に相談活動を行います。

また、いじめや不登校、問題行動等心の問題を抱える児童生徒に対応する教師のスキルを高めるための校内研修会及び校内事例検討会等に、講師や助言者として、指導主事等を派遣します。

(4) 社会科副読本「わたしたちの成田市」等の作成、配布

児童に地域社会の一員である自覚や地域社会に対する誇りと愛情が培われるよう、小学校3・4年生の社会科副読本「わたしたちの成田市」、指導の手引き、白地図等の改訂作業を毎年行い、大きく発展する成田市及び周辺地域の現状に即した資料の提供をする等、地域学習資料の充実を図ります。令和5年度に副読本をデジタル化し、令和6年度よりタブレット端末で閲覧できるようになりました。

3 教育支援センター(ふれあいるーむ21)

教育支援センターでは、学校等に登校できない状況にある児童生徒が学校復帰や社会的な自立ができるよう支援を行うとともに、教育相談業務を行います。

児童生徒の支援にあたり、専任の指導主事を1名配置するとともに、8名の指導員を配置します。また、通所する児童生徒一人ひとりにきめ細かく対応するため、臨床心理士を配置（1週間に1日程度）し、児童生徒及び保護者にカウンセリングを実施するとともに、家庭から出られない児童生徒のために、巡回指導員を配置し、家庭訪問等の支援を行います。さらに、様々な講師の助言を受け月1回程度実施するケース会議や、担当指導主事・指導員の学校訪問等により、各学校との連携を密にするなど、児童生徒の学校復帰の足がかりとします。



教育センター・教育支援センター



教育支援センター（ふれあいるーむ21）

4 各学校・幼稚園の特色



成田市立成田小学校
(創立 明治6年)

児童数 597人
学級数 23学級

本校は校訓「自主創造」を普遍的に育成を目指す不易として、学校教育目標「自分の考えをもち よりよく行動し 共に学びを広げる児童の育成」を社会の変化に応じて育成を目指す流行として位置付け、家庭・地域と目的を共有し、連携、協働する社会に開かれた教育課程の推進に取り組んでいます。学区は成田山参道の伝統文化が息づく地域をもち、青少年健全育成協議会が中心となって子どもたちに多様な体験の機会を提供するなど、地域の教育力を発揮しています。また、PTA活動は子どもたちの笑顔と安心に向けた学校支援を通して保護者の連帯を促進し、家庭の教育力を高めています。学校も体験的な活動の工夫に取り組み、外国人旅行者とのコミュニケーションを図る英語科の「参道活動」や保護者、地域人材をゲストティーチャーに迎えて社会的自立への展望を豊かに広げる「キャリアトーク」など、家庭や地域の特色を生かすことを通して、三者の連携、協働を培っています。



外国人旅行者と英語でコミュニケーションを図る「参道活動」



地域のゲストティーチャーから笑いと健康について学ぶ「笑医の会」



成田市立遠山小学校
(創立 明治35年)

児童数 24人
学級数 4学級

本校を取り囲むように整備された学校林「駒の森」は、長年にわたり地域の方々と守り育ててきた里山で、地域の誇りでありシンボルでもあります。カタクリの花やアカハライモリに代表される動植物を生かした学習を展開しています。また、保護者や地域の方々と共に落ち葉を掃くなど、年間を通して森の保全活動にも積極的に関わっています。「素敵な先輩シリーズ」と称した地域人材活用では、招聘した講師が有する専門的な技能を体験したり、生き方や自身の進路について考えたりするよう体験を通して、自己肯定感や学習意欲を高め、地域社会との繋がりを意識させることを目指しています。毎年4月には、地域在住の書家の先輩をお招きし、アドバイスを受けながら学級ごとに考えた本年の漢字一字を大筆で書き上げています。



「素敵な先輩シリーズ」
本年度の漢字は「駒」です



この作業でカタクリの芽が守られます



成田市立三里塚小学校
(創立 昭和25年)

児童数 336人
学級数 18学級

明治24年三里塚尋常小学校として発足し、遠山小学校三里塚分教場を経て、昭和25年に遠山村立三里塚小学校として開校しました。また、令和6年には、正門である「赤煉瓦門」が千葉県登録文化財に登録され、今もなお、子どもたちが登下校の様子を見守っています。

樹齢400年を超える「大榎」をはじめとする多くの樹木に囲まれた自然豊かな学校で、学校教育目標は「夢に向かってがんばる子ども」です。子どもたちに「夢や希望、目標」をしっかりとたたせ、あきらめずに挑戦して「わかった・できた」という成功体験を積み重ね、「ありがとう」という感謝の気持ちを大切にしています。また、遠山地区の小中学校では、小小及び小中連携を積極的に推進しています。互いに連携していくことで、9か年に渡り子どもたちの成長を支援していく体制を整えています。さらに、PTAや地域とも協力し、子どもたちがのびのびと育てる環境づくりを進めています。



「1年生を迎える会」
皆で楽しい時間を過ごしました



「おおえのき祭」
PTA主催のお祭りを楽しみました



成田市立久住小学校
(創立平成23年)

児童数 481人
学級数 20学級

学校教育目標「夢をめざし 心豊かに たくましく生きる児童の育成」のもと、「くじけず学習する子・ずっと仲良し心やさしい子・みんな元気でたくましい子」を目指して教育活動に取り組んでいます。

学区は成田市のほぼ中央に位置し、本校周辺の開発・宅地造成地区を囲むように水田地帯や畑作地帯、里山が広がる自然豊かな地域です。児童数は481名となり、本年度は特別支援学級4学級、通常級16学級の20学級となりました。保護者や地域の方々の教育への理解や支援がとても厚く、毎年、地域の伝統行事である「牛馬づくり」や食育・農業体験としての「米作り体験」など地域人材を活用し、豊かな自然の中で培われた伝統と文化を積極的に教育活動に取り入れています。本年度も、地域の文化や伝統に対する理解を図るとともに、国際交流活動の充実に努めています。



田植えから稲刈りまでの米作り体験学習
でお世話になりました【5年生】



「牛馬づくり」を地域の方にアドバイス
をもらいながら体験しました【6年生】



成田市立豊住小学校
(創立 明治22年)

児童数 42人
学級数 6学級

本校学区は、成田市の北西部に位置し、北は利根川、東は根木名川が注ぐ、緑豊かな田園風景が広がり郷土の文化や伝統が息づく歴史ある地域です。祖父母や保護者の多くが本校を母校とし、学校に対して非常に協力的です。本年度「ふるさとを愛し 共に未来を拓く 児童の育成」を学校教育目標として掲げ、スローガンを「みんなで考え みんなでつくる 豊住小」としました。小規模特認校5年目になり、本校の特性を生かしたきめ細かな教育と体験学習を推進して、主体的に生きる資質・能力の育成を図っています。そして、教育活動を充実するために、英語教育をより一層推進したり、地域の人的・物的資源を積極的に活用したりしています。福沢諭吉翁由来の校訓「独立自尊」の教えを体得することを本校の「不易」とし、地域との連携を一層密にして、学校づくりを進めています。



成田空港での国際交流活動を実施し
英会話の学習を生かしています



豊住未来プロジェクトでは、育てた野菜を
販売し、地域との交流をしています



成田市立八生小学校
(創立明治6年)

児童数 72人
学級数 8学級

本校は明治6年に押畑学校として開校し、本年創立152年目を迎える伝統ある学校です。学区は、成田市街の中心より北西へ約3km離れた松崎・上福田地区の台地とその大地を取り巻くように大竹・宝田・下福田地区の平地地帯が広がり、緑豊かな自然に恵まれています。地域住民は、学校への関心が高く、行事や奉仕活動などのボランティアに大変協力的です。

学校教育目標「やさしく かしく すこやかに」のもと、基本的な生活・学習習慣の確立、体力向上、家庭・地域との連携を重点目標に掲げています。学校全体で詩の暗唱、漢字・算数検定、なわ跳び検定等に取り組んでいます。縦割り活動や海外の小学校との国際交流、豊住小学校と連携した教育活動など、小規模校のよさを生かして教育実践を行っています。さらに、地域の住民や県立成田西陵高等学校と連携して交流活動を推進しています。



稲作体験活動では、地域の方々と一緒に
稲刈りを行いました



大銀杏交流会では、成田西陵高校の
生徒さんから茜染めを教わりました



成田市立公津小学校
(創立 明治6年)

児童数 112人
学級数 8学級

創立152周年を迎える本校は、「心豊かで 自ら学ぶ たくましい児童の育成」—すべては 夢を抱き輝く 公津っ子のために！— を目標に掲げ、地域とともにある学校づくりを推進しています。

【あじさい運動】「(あ)かるい挨拶 (じ)ぶんから (さ)きに (い)おうね公津っ子」を柱に、相手のことを思い、自分から挨拶ができること。また、全校縦割り班での運動遊びを軸とした「杉の子班活動」や地域の方々とのふれあいを通して、自他を大切に、ともに認め合う心を涵養することを大切にしています。

4月11日に行った第1回学校運営協議会では学校経営方針について協議を行いました。また、保護者及び地域コーディネーター、公津っ子サポーター(学校支援ボランティア)、繋がる公津(地域の方々)の皆様と連携を深め、多様な学びから力を付けられるよう取組を進めています。



6年家庭科「いためる調理でおかずを作ろう」
公津っ子サポーターの学習支援



「全校歩行会」杉の子班で公津の杜公園
まで歩き、楽しく運動遊びをしました



成田市立向台小学校
(創立 昭和47年)

児童数 174人
学級数 9学級

成田ニュータウンの中に最初に開校した小学校で、中台3・4・5・6丁目を学区とし、周辺には公園が点在し、緑道が整備された緑豊かで静かな環境です。保護者の学校教育への関心は高く、環境整備、防犯等に関するボランティア活動にも協力的です。本校の学校教育目標は「新しい時代を創造する、心豊かで、たくましい児童の育成」であり、「花いっぱい・歌声いっぱい・笑顔いっぱい」という合い言葉のもと、174名の児童が各教科の学習をはじめとして、学校行事や花の栽培、運動・音楽等の活動に、熱心に取り組んでいます。

本年度は「『学び合い高め合う』力をつけるための教育活動の展開」「『心豊かで自分も相手も大切にする』心を育む教育活動の推進」「『心身の健康(体力の向上とレジリエンス)』を高めるための教育の推進」の3点を重点項目として掲げ、全職員が学校経営に参画し、チーム向台として学校教育目標の具現化に取り組んでいます。



花いっぱい活動



『心豊かで自分も相手も大切にする』
心を育む教育活動の推進



成田市立加良部小学校
(創立 昭和48年)

児童数 400人
学級数 18学級

成田ニュータウンの中心部に位置する本校は、飯田町・江弁須地区及びニュータウンの加良部地区で学区を形成する学校です。また、病気と闘いながら勉強している子どもたちのための院内学級が成田日赤病院内に設置されています。

本校では、タブレット端末等を利活用し、子どもたちの情報活用能力の育成を図っています。また、体験活動を充実させるために地域や保護者の協力のもと、子どもたちにより魅力的な学びの場を提供できるように力をいれています。昨年度は地域の高齢者クラブのご協力を仰ぎ、「昔の遊び教室」を復活させることができました。「《夢をもち 未来を拓く》確かな学力を身に付け、心豊かで、健康な子どもを育てる」を学校教育目標に掲げ、本年度も学校・保護者・地域との深い信頼と連帯の中で、「よく遊び よく学び よく働く からべっ子」を育てています。



「昔の遊び教室」
1年生が昔の遊びを体験しました



「地域ボランティアによる読み聞かせ」
読み聞かせを定期的に行いました



成田市立橋賀台小学校
(創立 昭和50年)

児童数 190人
学級数 9学級

橋賀台小学校は、昭和50年に成田ニュータウン3校目の小学校として開校しました。学区は橋賀台1～3丁目の集合住宅に囲まれた静かな教育環境の中にあります。校舎は3階建てで掃除も行き届いており、校庭は芝生に覆われたグラウンドと築山が自慢の学校です。子どもたちは清潔感ある環境下で、日々充実した学校生活を送っています。

学校教育目標に、「心豊かにたくましく生きる子どもの育成～夢に向かって、日々成長！～」を掲げ、全教育課程を通じ「あいさつができる子」「よく考え、学び合う子」「自分と友達の良さを認め合う子」の育成に力を入れています。

学力向上では、読書活動を基軸とした読解力や表現力を高める国語科教育を研究の中心に据えるとともに、道徳教育、人権教育、福祉教育、環境教育など横断的な学習を行い、豊かな心を育てています。本年度も、粘り強く課題に向き合い、次代を切り拓く児童の育成に、職員一丸となって取り組んでいます。



高齢者疑似体験の様子



田植え体験の様子



成田市立新山小学校
(創立 昭和52年)

児童数 201人
学級数 10学級

本校は、成田ニュータウンの中央部に位置し、学区は加良部1、3、4、5丁目からなり、創立49年目を迎えました。校訓「みんななかよし 丈夫に育て」のもと、学校教育目標に「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる児童の育成 ～やさしく かしく たくましく 希望の登校 満足の下校の実現」を掲げ、多様な子どもたちを誰一人取り残さない温かな学校を目指しています。

特色ある教育活動として、思いやりやリーダー性を育成するため、縦割り交流活動「すすく班」での定期的なレク活動、長なわ跳び大会を行っています。本年度から、清掃活動も異学年で協力して行っています。また、地域の協力を得て、読み聞かせ、福祉体験学習、書き初め教室、昔遊び交流会などの体験活動の充実と豊かな心の育成を図っています。タブレット端末や生成AI等のICT利活用に力を入れるとともに、算数科学習の充実を図るため研究・研修を進めています。



ありがとうの会
縦割り交流活動「すすく班」



読み聞かせボランティア
「菜の花」による読み聞かせ



成田市立吾妻小学校
(創立 昭和53年)

児童数 561人
学級数 23学級

本校は、成田ニュータウンの西部に位置し、創立48年目を迎えました。学区周辺には多くの古墳が点在し、グラウンドにも4基の古墳があります。本年度の学校教育目標である「自他共に大切に、考えて行動する子どもの育成」をもとに、子どもたちは「大事な自分 大事な友だち I'm OK. You're OK!」を合い言葉としています。本年度、本校では委員会活動を無くし、学校のため、みんなのためになる活動で、自分がやりたいと思う活動を行うプロジェクト活動をスタートしました。5・6年生児童が自分の得意なことや好きなことを生かして、創意工夫を凝らしながら生き生きと活動を始めました。また、GIGAスクール構想により導入されたICT環境を活用し、学校内外におけるDX化にも力を入れています。子どもたちの安全を守る「スクールガードあづま」や吾妻小「おやじの会」、「吾妻・はなのき台地区青少年健全育成協議会」等、地域の方々との活動も活発で、ふるさと吾妻に支えられながら、子どもたちが生き生きと活動しています。



全校音楽発表会「ピッコロコンサート」



地域行事も盛り上がります！「逃走中」



成田市立玉造小学校
(創立 昭和56年)

児童数 165人
学級数 9学級

玉造小学校の学区は、成田ニュータウン北部の玉造1丁目から4丁目、そして八代から構成されています。保護者、地域ともに教育に関心が高く、本校の教育活動に大変協力的です。本年度も、教育目標を「心豊かで、たくましく生きる力を身につけた児童の育成」とし、教育活動の充実に努めています。特に、「正しく読み、表現できる児童」の育成を目指し、「確かな学力」「豊かな心」「たくましい体」「家庭・地域との連携」を重点目標にすえ、教育活動を進めています。特別支援教育にも力を入れ、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を充実させています。また、学校支援地域本部を中心とした地域の教育力を生かし、農業体験学習や生き物体験、昔遊び、学区探検、読み聞かせ、書き初め練習会等を実施し、地域の方との交流を深めています。



「昔のあそび」
昔のあそびを教えてもらったよ！



「稲刈り」
黄金色に実ったお米を収穫したよ！



成田市立中台小学校
(創立 昭和57年)

児童数 140人
学級数 8学級

本校は創立44年目を迎えました。一昨年の9月に新校舎が完成し、早くも1年半が経過しました。学校教育目標を「かしこい子どもの育成」とし、「勉強する子(知)」「やさしい子(徳)」「元気な子(体)」の育成を目指しています。本年度は特に、「元気にあいさつできる、ここから『ありがとう』と伝える、相手の気持ちがわかる」の「3つのやくそく」を大切にしながら、子どもたちは、「集中・ぬくもり・清潔・秩序」ある学校生活を送っています。

学校は、緑豊かな落ち着いた中台地区に位置し、校内にもたくさんの花や緑があふれています。保護者・地域の関心も高く、PTAや社会福祉協議会・学校支援地域本部と連携しながら、子どもたちの学びの環境充実に努めています。



地域の皆様と緑道花壇を整備しました
「花植え活動」(4年)



食に関する指導を全学年で行いました
「食に関する指導」(3年)



成田市立神宮寺小学校
(創立 昭和60年)

児童数 130人
学級数 9学級

創立41年目を迎える本校は、成田NT北部にあり、近くには、成田スカイアクセス線成田湯川駅があります。保護者は全国各地から移り住んできていることから、新たなふるさとづくりをめざして「神宮寺祭り」「どんど焼き」等の文化活動や、各種スポーツ大会等独自の行事が定着してきました。保護者の教育的関心は高く、読み聞かせ・環境美化活動・リサイクル活動・防犯パトロール活動等のPTA活動も盛んです。また、隣接する成田北高校とは、先生や生徒による「おもしろ実験室」や教職希望生徒のインターンシップ等、交流を行っています。さらに、地域の学習ボランティアによる学習会「神小寺子屋」を毎朝開催し、学校支援事業として確立しています。このように学校と家庭、地域の連携が取れている環境の中、「心豊かでたくましく自分を信じてがんばる児童の育成」の学校教育目標に向けて、「よく学び、よく遊べ、感動いっぱい神宮寺小」を合言葉に全教職員が力を合わせて学校教育活動に取り組んでいます。



「神小寺子屋」で、自分で課題を決めて学習に取り組む様子



「ひまわりばたけ」の皆さんによる読み聞かせを楽しむ様子



成田市立平成小学校
(創立 平成2年)

児童数 566人
学級数 23学級

本校の学区は、成田市の南西に位置し、富里市・酒々井町と隣接した並木町・飯仲地区から成り立っています。国道51号線周辺に散在する古くからの街並みと、JR線南側（富里市側）に宅地造成の開発が進んだことによる、新しい地域が混在しています。

学校教育目標を「夢を抱き たくましく生きぬく 人づくりをめざして ～知・徳・体の調和～」としました。「夢を抱き」とは常に短期・長期の目標をもち、それを実現するための過程を大切にすることです。「知・徳・体」の三つを調和よく育み、生涯にわたり、夢を抱き、たくましく生き抜く人づくりを推進しています。へ：平和でいじめのない、い：いつでも夢・希望をもてる、せ：全力でがんばる子がいる、い：いっぱい感動がある学校を目指し、「なかよし班活動」や「縦割り清掃」等の縦割り班活動、地域団体との連携を行い、児童の主体的な活動や児童同士や外部との交流事業等を実施しています。



「こいのぼり遠足」



「ペットボトルツリー点灯式」



成田市立本城小学校
(創立 平成5年)

児童数 464人
学級数 20学級

本校は「たくましく、心豊かな子どもの育成」～夢と希望を笑顔で語る子どもたち～を学校教育目標に掲げ、児童一人ひとりが安心して楽しく学べる学校づくりを進めています。学校・家庭・地域が一体となり、信頼関係を築きながら教育活動を展開しています。校区では宅地造成が進み、児童数も年々増加し、学校周辺の町並みも日々発展しています。

近くには空港があり、社会科見学では空港ロビーやバックヤード、空港消防施設などを見学し、児童の学びを深めています。また、「本城小バザー」では昨年度は規模を拡大して開催し、保護者や地域の方々とのつながりを一層深める機会となりました。地域の支えを受けながら子どもたちは日々成長しています。



空港見学
空港の大きさを改めて実感！



本城小バザー
地域の方々との交流が深まりました



成田市立公津の杜小学校
(創立 平成18年)

児童数 583人
学級数 23学級

創立20周年を迎えた本校は、学校教育目標を「未来を拓く心豊かでたくましい児童の育成」と掲げ、子どもの「希望の登校、満足の下校」の実現を目指して、教育活動を行っています。

本年度は、①時と場所に合わせ自ら進んで元気よく挨拶できる子を育てる②自分で考える力・決断力・解決力を育て、行動できる子どもを育てる③人を思いやる心を育て、自分を大切にできる子どもを育てる④失敗を恐れずチャレンジし、最後まであきらめない意思の強い子どもを育てることを目指しています。算数科を中心に思考力・判断力・表現力の育成を目指し、校内研修の充実を図るとともに、教育相談体制を充実させよりよい人間関係づくりを推進し、どんな状況下でも楽しさとやりがい、体力の向上を実現させる体育科指導の改善に努めます。また、学校給食や家庭科指導において「おいしさ」を感じ、「おいしさ」をつくる力の育成と豊かに表現する力の向上に努め、学校生活の充実を目指しています。



学校生活の充実①
1年 虫とり



学校生活の充実②
ゆめまつり

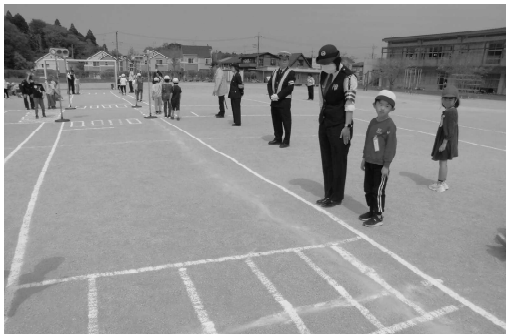


成田市立美郷台小学校
(創立 平成19年)

児童数 323人
学級数 16学級

「日本一『幸せ』な学校～夢を持ち、夢を語ることができる学校～」を学校教育目標の具現化に向けたグランドデザインとして掲げ、目指す児童像を「自分で考え、自分で行動することができる子」としています。また、児童に身に付けさせたい4つの力を「人や物を大切にする力」「自分の考えをもつ力」「自分を表現する力」「チャレンジする力」とし、その育成のため教育活動に取り組んでいます。

8年目を迎える学校支援地域本部事業では、地域支援コーディネーターの力をお借りして、地域の人的・物的資源の活用を図りながら、「交通安全教室」「畑作り」「社会福祉体験」「ミシン学習」「昔遊び」など、多くの体験活動を取り入れ、地域の方との交流を通して、優しさや感謝の心、豊かな人間性を育んでいます。また、算数科の指導方法に関する研修にも力を入れ、思考し表現する力を高める指導を工夫し、学力向上を目指しています。



警察と交通安全協会の方々が
交通安全教室を開催



地域の方との畑作り



成田市立成田中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 498人
学級数 17学級

『「夢へ」～誰もが夢を持ち、その一步を踏み出せる学校』を学校教育目標に掲げ、「思い」「約束」「感謝」をスローガンに、全職員一丸となり教育活動を実践しています。「元気な挨拶」と「さわやかな歌声」が響き渡り、誰もが夢や目標に向けて一步を踏み出せるような活気ある学校づくりに向け、子ども達の主体的な活動を推進しています。また、授業では、「わかる授業」「楽しい授業」のために生徒の視点に立った指導方法の工夫改善に取り組んでいます。外国語教育において、「生きた英語力」を身につけさせるため、ALTを積極的に活用したコミュニケーション能力を高める授業づくり、数学科においては、チーム・ティーチングを取り入れたきめ細かな指導方法の工夫改善に取り組み、子ども達の学力の向上を図っています。PTA活動も盛んに行われ、地域に根付いた安心安全な学校を目指しています。



PTAバザー5年ぶりに開催
生徒・保護者の笑顔が溢れました



夢・実現講演会
オリンピック選手でOGの田中智美さん



成田市立遠山中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 410人
学級数 16学級

本校は、成田国際空港に最も近く、豊かな文化と長い歴史を有した中学校です。「人間性豊かで、自主共同の心を大切にする生徒の育成」を学校目標に掲げ、「素直・謙虚・感謝」の3つの心をスローガンにして教育活動を行っています。学習指導については、本年度から研究指定を受けた「ちばっ子の学びの変革」の実施について、指定教科である数学を中心に学校全体で主体的・対話的な授業、ICT機器を積極的に活用した授業を推進していきます。また、外国籍生徒への日本語指導など、生徒の実態に応じた個別支援を充実させることにより、生徒の基礎学力の向上を目指しています。

本校の学区は広域で9割以上の生徒が自転車通学をしているため、本校の生徒が学区内の小学校に出向き自転車の乗り方教室を行うなど、小中学校が連携しての交通安全教育にも力を入れています。



体育祭ダンス



入学式



成田市立久住中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 219人
学級数 9学級

本校の学区は、成田市の中央に位置し、学区内にJR久住駅があります。近年、久住中央地区の宅地開発に伴い生徒数が増加しており、全校生徒が219人となりました。今後も生徒が増える見込みです。平成23年度の学区小学校の統合によって一小一中学区となり、小中連携教育の推進に努めています。平成29年度には校舎増築棟が完成し、最新の設備と恵まれた自然環境のなかで子どもたちは学校生活を送っています。純朴で素直な生徒が多く、身体を動かすことが好きであり、学校行事や諸活動に積極的に取り組んでいます。学校教育目標の「一人一人の学びを大切にし、生きる力を育成する～学校・家庭・地域社会との連携および協働を通して～」のもと、明るく活気に満ちた学校づくり、学校に集うみんなが協力して学び合える学校づくりを推進しています。



総合的な学習の時間・伝承芸能



総合的な学習の時間・職場体験学習



成田市立西中学校
(創立 昭和39年)

生徒数 444人
学級数 17学級

学校教育目標の「前へ」という言葉には「挑戦するものがあるとワクワクする。毎日が楽しくなる。大きな目標も、日々の一步一步の積み重ねがあって達成できる。「挑戦」が西中を楽しくする。さあ、「前へ」進もう！」という思いが込められています。

激しく変化し続ける社会の創り手となる子どもたちに、前へ進めるための知力・体力・協力と深い優しさを持てるように「新たな学びの場の創造」を研究主題として、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を進めています。昨年度、新たにApple Distinguished School (ADS) に認定されました。ICT機器の便利さだけを重視するのではなく、新しい学習ツールを活用するからこそできる思考力・判断力・表現力を育成できる学習を行います。そして、「誰ひとり取り残さない」を合言葉に、全ての生徒に寄り添った教育活動を展開しています。



企業とオンラインで行った課題解決学習
(多目的室にて)



生成AIを活用した授業
(クリエイティブ・ラボにて)



成田市立中台中学校
(創立 昭和48年)

生徒数 216人
学級数 8学級

本年53年目を迎えた本校は、成田空港の開港に伴う整備事業の一環として、新住宅地開発に基づいて造成された成田ニュータウン内にあります。学区は、加良部、中台、米野地区からなっていましたが、公津の杜中の新設にともない学区が再編され、加良部1丁目、中台、米野地区が学区となりました。学校目標である「自ら学び、豊かな心をもち、たくましく生きる生徒の育成」を目指し、日々教育活動に取り組んでいます。生徒は、学習に意欲的に取り組み、GIGAスクール構想により導入されたiPadの活用にも積極的です。また、体育祭や合唱コンクールなどの行事等にも大変意欲的に取り組んでいます。学校図書館の研究指定校(R4～R5)となったことを機に、自己表現力を高める活動に積極的に取り組み、市立図書館や学区内小学校と連携したり、保護者、地域に広く情報を発信したりしながら、主体的に学びに向かう生徒たちを育てています。



図書室を利用した学習に、積極的に
取り組んでいます



防災教育の観点を取り入れた調理実習も
実施しています



成田市立吾妻中学校
(創立 昭和53年)

生徒数 511人
学級数 16学級

成田ニュータウンの西に位置する本校は、橋賀台地区、吾妻地区、はなのき台地区及び隣接する船形地区の一部を学区とし、春には校地を取り囲む数十本の八重桜が美しい花を咲かせる素晴らしい環境に恵まれています。

学校教育目標として「次代をひらき、心豊かにたくましく、生きる力を身につけた生徒の育成」を掲げ、自ら課題を見出せる感性をもち、課題に対し前向きに取り組む方法を模索し、自己の決定したことを実践することのできる「気づき、考え、行動する生徒」の育成を目指し、社会の変化や本校の課題に即時対応できるよう、全ての教科において言語活動の充実を図る研究を進めています。

また、国際性やコミュニケーション能力を身につけた生徒を育成するために、英語科授業の充実を図っています。



全校生徒が熱く燃えた体育祭



サンブルーノ市の中学生との交流



成田市立玉造中学校
(創立 昭和60年)

生徒数 197人
学級数 9学級

創立41周年を迎える本校は成田ニュータウンの北端にあり、玉造地区（1～7丁目）、八生地区の上福田・大竹・松崎及び公津地区の八代から学区が成り立っています。入学してくる生徒は、玉造小・神宮寺小・八生小の3校で9割以上を占め、本年度は合計197名で日々の学校生活を送っています。

学校教育目標は「徳・知・体の調和が取れ、未来を切り拓く力を持った生徒の育成」であり、玉造中学生として、夢や誇り、思いやりの心をもち日々の学校生活に取り組んでいます。また、平成27年5月に生徒総会で議決した、「挨拶・返事」、「学習」、「合唱活動」、「無言清掃」、「団結力」の「当たり前5項目」を当たり前にするように、全校生徒で声をかけ合っています。体育祭や合唱コンクールなどの学校行事への取組、クリーン作戦や資源回収などの地域行事にも積極的に参加しています。学校、保護者、地域が一体となって子どもたちの成長を支えています。



開校40周年記念トンネルアート制作



成田国際文化会館での合唱コンクール



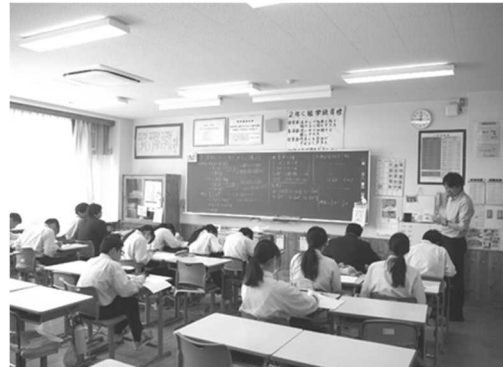
成田市立公津の杜中学校
(創立 平成25年)

生徒数 645人
学級数 22学級

本校は、平成25年に生徒数497人で開校しましたが、生徒数は年々増加し、本年度は645人と、市内で最も大きな規模の中学校となっています。保護者をはじめ、地域の方々の温かな支援と恵まれた教育環境のもとで、生徒たちはのびのびと学校生活を送っています。学校教育目標は、「未来を拓く心豊かでたくましい生徒の育成」です。《生徒も保護者も職員も「公津の杜中でよかった」》と思える学校を目指し、学習や自治的活動、家庭・地域との連携による健全育成に取り組んでいます。近年はSDGsを意識した取組の一環として、配布物のペーパーレス化を推進しており、保護者宛に文書を電子配信するとともに、授業や学校行事にて配布する資料も必要に応じて電子化を図っています。その他に、数学科の授業においては、習熟の度合いにより2学級を3つに分けて3人の先生が指導を展開するなど、「分かる授業」の実践に向け、個別最適化に配慮した学習活動を展開しています。



生徒総会



数学科における少人数指導



成田市立下総みどり学園
(創立 平成29年)

児童生徒数 336人
学級数 19学級

本校は、平成29年に施設一体型の義務教育学校としてスタートし9年目を迎えました。「地域とともに夢と希望に向かってたくましく生きる下総っ子」を学校教育目標として、義務教育9年間を通した指導方針のもと、一人ひとりの子どもが着実に学力を身につけ、心身ともに健全で、豊かな人間性と社会性を発揮できる人間として成長していけるよう9年間の連続した学びを実践しています。そのために、9年間を前期(1～4学年)、中期(5～7学年)、後期(8・9学年)の3つのブロックに分け、それぞれの発達段階に応じた学習面・生活面の目標を設定して教育活動を行っています。縦割り班による清掃やなかよし活動など、様々な異学年交流活動は本校の特色の一つです。また、円滑な人間関係を築くことを目指しながら、地区の高校をはじめ地域とも積極的に連携し児童生徒の育成に努めています。



縦割り班での給食



下総高等学校での苗植え体験



成田市立大栄みらい学園 (創立 令和3年)

児童生徒数 499人
学級数 27学級

本校は、大栄地区の5つの小学校と1つの中学校（大須賀小・桜田小・前林小・津富浦小・川上小・大栄中）が統合し、令和3年度、新たに義務教育学校として開校しました。小学校・中学校の垣根（壁、区分、柵）をなくし、9か年を通してふるさと大栄を愛し、郷土として誇れる「大栄っ子」を地域とともに育てることを基本理念とし、「未来を切り拓き 社会で活躍できる人間性豊かな人材の育成 ～自主自立 未来創造 郷土愛～」を教育目標に、5年目の学校生活を迎えました。

義務教育学校としての特色を生かし、全校を20の縦割り班に編制し、毎日の清掃活動や全校遠足、体育祭などの学校行事に取り組んでいます。教職員も小中それぞれで培った文化を融合させ、新たな学校づくりを児童生徒とともに推し進めています。



全校レク



縦割り班による清掃活動

成田市立大栄幼稚園 (創立 平成8年)

園児数 52人
学級数 3学級

本園は、成田市東部に位置し、大須賀川沿いの水田地帯を望む高台にあり、自然豊かな環境に恵まれ、大栄保育園や大栄B&G海洋センター・ナスパスタジアム等の公共施設も隣接しています。園児は、大栄地区のみならず市内の他の地域からも通園しており、広々とした園庭で、日々元気いっぱい活動しています。また、園周辺の地域を利用し、緑豊かな自然との触れ合いを大切に保育を実施しています。「たくましく心豊かに生きる子どもの育成」を教育目標に、「明るく元気な子ども・自分のことは自分でする子ども・友達となかよく遊ぶ子ども・意欲がありねばり強い子ども」の育成を目指しています。

本年度は、15名の新入園児を迎え3クラス52名でスタートしました。保護者と連携を取りながら、園児が健やかに明るく元気に過ごせるように職員一同、より良い幼児教育に日々努めています。



お芋掘り
大きいお芋たくさん掘れたよ



おいしいお寿司ができたよ
お店屋さんごっこ！

5 学校給食センター

学校給食センターでは、学校給食を教育活動の一環として提供することにより、児童生徒の心身の健全な発達に資しています。

現在は本所、玉造分所、下総分所、大栄分所、公津の杜中学校学校給食共同調理場、本城小学校学校給食共同調理場、公津の杜小学校学校給食共同調理場、美郷台小学校学校給食共同調理場、平成小学校学校給食共同調理場で給食を調理しています。

(1) 食に関する指導の充実

食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせ、生涯にわたって健やかな心身と豊かな人間性を育むため、給食時間等の指導のほか、食に関する指導を行っています。

また、家庭教育学級や給食だよりなどを通じて情報提供を行うことにより、家庭における食育を促しています。



栄養教諭による食に関する指導

(2) 献立の充実

- ① 学校給食の食事内容が、衛生的かつ安全であることはもとより、栄養バランスのとれた魅力あるものとなるよう努めています。

また、食事は調理後できるだけ短時間に適温で提供できるよう、十分な配慮を行います。

- ② 献立作成及び調理にあたっては、児童生徒のし好の偏りをなくし、多様な食事内容に親しむことができるような食品の組み合わせや調理方法の工夫に努めます。
- ③ 学校給食の献立作成にあたっては、多様な食材を使用し、また、成田産の食材を取り入れた食事内容の充実及び摂取栄養量の確保に努めます。
- ④ 成田産食材の使用として、主食となる米飯は全て成田産コシヒカリを使用し、野菜についてもできるだけ成田産を使用するよう努めています。

(3) 衛生管理の推進

児童生徒を対象としている学校給食は、特に衛生管理（食中毒等の事故防止）に万全を期さなければなりません。そのため、学校給食センターでは、衛生管理体制を確立し、原材料及び調理後の食品の温度管理の徹底や二次汚染防止等に努めています。

また、職員の健康管理等を行うとともに、保健所の指導、助言を受けつつ、調理作業、衛生管理に努めています。

児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準

区 分	基 準 値			
	児童（6歳～7歳） の場合	児童（8歳～9歳） の場合	児童（10歳～11歳） の場合	生徒（12歳～14歳） の場合
エネルギー（kcal）	530	650	780	830
たんぱく質（％）	学校給食における摂取エネルギー全体の13％から20％			
脂質（％）	学校給食における摂取エネルギー全体の20％から30％			
ナトリウム （食塩相当量）（g）	1.5未満	2未満	2未満	2.5未満
カルシウム（mg）	290	350	360	450
マグネシウム（mg）	40	50	70	120
鉄（mg）	2	3	3.5	4.5
ビタミンA（ μ gRAE）	160	200	240	300
ビタミンB1（mg）	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2（mg）	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC（mg）	20	25	30	35
食物繊維（g）	4以上	4.5以上	5以上	7以上

- 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについても示した摂取について配慮すること。
亜鉛……児童（6歳～7歳）2mg、児童（8歳～9歳）2mg、
児童（10歳～11歳）2mg、生徒（12歳～14歳）3mg
- この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。
- 献立の作成に当たっては、多様な食品を適切に組み合わせるよう配慮すること。

（４）地域との連携

本市の給食についての考え方や取組を伝え、実際に味わっていただくことで、給食の良さを広く市民に伝えることを目的とした「なりたの５つ星給食レストラン」を開催しています。

（５）給食施設の整備

学校給食センター本所、玉造分所の老朽化に伴う施設の再整備にあたり、児童生徒にとってよりよい給食環境の構築を図るため、平成２１年度に施設整備基本計画を、平成２２年度に施設整備実施計画を策定しました。その後、平成２６年度に実施計画を見直しました。この実施計画に基づいてアレルギー対応食の提供、温かい給食の提供及び食育の推進が可能となる親子方式（※）による施設の整備を進めています。



平成小学校学校給食共同調理場

※敷地に余裕のある学校に給食施設を設置し、近隣のいくつかの学校に配食する方式

なお、学校給食センター本所につきましては、愛光園跡地へ移転・再整備することとして、令和6年度から建設工事を行っており、令和8年9月からの供用開始を予定しています。



整備中の学校給食センター本所

(6) 学校給食費無料化

令和4年4月から多子世帯における子育てに対する経済的負担の軽減を図るため、子を3人以上扶養している保護者を対象として、一定の要件を満たす場合に、市立小中義務教育学校に通う第3子以降の学校給食費を無料としています。

さらに、令和5年4月からは、進路の決定や入学までの費用など、特に経済的負担が増加する中学校3年生及び義務教育学校9年生、並びに経済的な負担が大きいひとり親家庭の児童生徒の学校給食費を無料としています。

(7) 食物アレルギー児等学校給食費相当額助成

令和5年1月から、市立小中義務教育学校に通う子が食物アレルギーなどの理由により給食の提供を一切受けられず、毎日弁当を持参している場合に、学校給食費相当額を助成しています。

生涯学習

1 施策の概要

市民が生涯の各期において自己啓発を続け、主体的にかつ豊かに生き、お互いの連帯感を高めていく地域社会づくりを目指し、各種教育機関・組織・団体との幅広い連携のもとに、市民の生涯にわたる自主的な学習活動を支援します。

(1) 生涯学習の推進

① 生涯学習推進協議会

生涯学習推進協議会は、生涯学習に関する諸施策について、広く市民の意見及び要望を取り入れ、効果的な展開を図るため設置しています。

② 社会教育委員会

社会教育委員の職務には、青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（社会教育）に関する計画の立案、教育委員会の諮問に対する意見陳述、その他の調査研究などがあります。

③ 成田市まなび&ボランティアサイト (<https://narita.genki365.net/>)

インターネット上で市民の様々な活動・活動運営を支援するシステムです。コミュニティ活動、地域活動、福祉、子育て、学習、講座など、市内で行われる活動に関して、イベントや学びの機会、ボランティア募集、各種団体、各種人材など、様々な情報を行政から提供するばかりでなく、参加団体等からも情報が発信できるなど、交流窓口にもなるサイトです。



まなび&ボランティアサイトトップページ

○このサイトでできること

〔何かの活動に参加したい市民は〕

- ・ イベント、ボランティア募集、各種団体の活動等の情報検索、閲覧

〔既に何らかの活動をしている市民は〕

- ・ イベント等の指導者や講師の検索、閲覧
- ・ 団体の基本情報として活動内容、活動日、会員募集、連絡先等を掲載
- ・ 団体で開催するイベント等のボランティアや参加者の募集を掲載
- ・ 団体の活動の状況を広く知ってもらうため活動報告や活動写真等を掲載
- ・ 人材情報として自分が活動できる特技（指導内容・ボランティア内容、活動可能日、連絡先など）の掲載

○登録されている情報について

- ・ 個人情報保護の観点から、個人情報に関する部分については特に本人の同意をいただき公開します。
- ・ 掲載されている各種情報は、希望する人材や団体からの申し込みにより登録されており、指

導能力、ボランティア能力、公共性、公益性、情報の正しさ等を公的に保証するものではありません。

（２）家庭教育の充実

① 子育て学習講座・思春期子育て講座

各小学校及び義務教育学校で行う就学時健康診断等の機会に、「子育て学習講座」を開設し、入学前の子どもたちとの関わり方や親の心構えを学びます。また、各中学校では入学説明会等の機会に「思春期子育て講座」を開設し、多感な時期の子どもたちへの支援の方法を学びます。



子育て学習講座

② 家庭教育学級

家庭教育学級では、子どもの発達段階に合わせ、家庭教育に対する関心を高めたり、保護者同士の親睦を深めたりしながら家庭教育の充実を目指しています。

（３）成人教育の充実

① 生涯学習講演会

市民が誰でも参加できる学習機会として、生涯学習講演会を開催します。

② 高等学校等開放講座

学校が持つ優れた人材と施設・設備を地域に開放し、市民に対し生活上、職業上必要な知識と技術及び一般教養に関する学習機会を提供することを目的に開催しており、多様化・専門化する市民の学習ニーズに応えています。



生涯学習講演会

（４）青少年教育の充実

① 青少年問題協議会

青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する施策の適切な実施を図るため、関係行政機関と連絡調整を行うとともに、目的達成に必要な事項を調査審議しています。

② 青少年健全育成事業

青少年育成団体の活動に助成・支援を行うことにより、地域における青少年活動を活発にし、青少年の健全な育成を図ります。

ア 青少年育成市民会議

市内１５地区の青少年健全育成協議会を統括して、青少年問題に関する共通理解を深め、地域における関係機関・団体が連絡協調を図りながら、効果的な青少年の健全育成を推進するための事業を開催するとともに、市内関係団体への支援を行っています。

○青少年音楽祭

イ 青少年相談員連絡協議会

青少年活動の促進を図るとともに、社会環境の浄化、青少年の体位体力の向上と健全な家庭づくりを推進し、青少年の非行防止のために率先してボランティア活動を行うことを目的に各種事業を推進しています。

○オールナイトハイク（中学生及び義務教育学校7～9年生対象）

○青少年交流綱引き大会（小学校及び義務教育学校6年生対象）

ウ 成田市子ども会育成連合会

市内各子ども会の自主性を尊重しつつ、その健全な発展を図ることを目的に活動を行っています。

○体験事業（年2回）

○こども会まつり

③ ジュニアリーダー養成

次代を担う青少年のリーダーをさまざまな「体験」を通して養成します。

○ジュニアリーダー養成研修会

④ 青少年劇場

青少年の情操教育の一環として、良質な芸術文化に直接触れることで、青少年の資質の向上を図ることを目的に開催しています。小学生・一般向けには劇場での公演を、中学生向けには巡回公演を行っています。

⑤ 成人式

二十歳の節目を祝う行事を開催します。



成人式実行委員会



成人式の様子

（５）社会教育関係団体活動の支援

地域社会の活性化と地域の教育力の向上を図るため、市民自身が自主的に学習活動を実践し、その成果を地域に還元していくことは、地域づくりに重要な役割を果たしています。

そこで、社会教育関係団体の育成と充実を図り、市民生活に密着した地域活動の推進に努めています。

（主な支援団体）

○成田市PTA連絡協議会

○成田ユネスコ協会

○伊能歌舞伎保存会

（６）文化財の保護

① 文化財保護事業

市内に所在する文化財のうち、重要なものを指定等文化財（国指定、国登録、県指定、県登録、市指定）として保護・保存に努めるとともに、無形民俗文化財については、後継者の育成を図るよう管理団体との連携を推進しています。

国指定重要文化財の南羽鳥中岫1遺跡土坑から出土した人頭形土製品や市指定文化財の南羽鳥正福寺遺跡1号墳出土のムササビ形埴輪などは、下総歴史民俗資料館で展示を行い、広く文化財の啓発にも努めています。

埋蔵文化財については、収蔵管理の充実を図るほか、土器等の補修・修復を行うとともに、開発行為等に係る保護に努めています。

② 文化財啓発事業

市内及び県内の様々な文化財に関する理解を深めるために、各種事業を実施しています。

○歴史講演会

○博物館めぐり

○史跡めぐり

○各種出版事業



歴史講演会



千葉県登録有形文化財 三里塚小学校赤煉瓦門

また、平成28年4月に千葉県、佐倉市、成田市、香取市、銚子市が共同で日本遺産「北総四都市江戸紀行～江戸を感じる北総の町並み」として認定され、JR東日本や銚子電鉄等が主催するイベントに参加した他、教育旅行誘致事業として、成田市で教員研修を開催しました。

今後は、さらに情報発信や普及啓発等の事業に努めてまいります。

③ 文化財保存展示施設管理運営事業

市内に分散して収蔵してある埋蔵文化財資料等をまとめて収蔵するため、旧滑河小学校を改修し、令和4年に滑河文化財保存展示施設を開館しました。埋蔵文化財資料の収蔵スペースの他、会合等に利用できる多目的室、閉校した小学校ゆかりの品々や旧下総町に関連する資料を紹介する展示室を有しています。

施設の管理運営とともに、年2回の考古学体験教室を実施しています。

④ 三里塚御料牧場記念館

日本の畜産振興に輝かしい実績を残した旧宮内庁下総御料牧場の在りし日の姿を再現し、佐倉七牧や牧場の歴史的遺産を継承・啓発するための記念館です。

記念館の管理運営を適切に行うとともに、関係資料の管理・保管にも努めています。

⑤ 下総歴史民俗資料館

市内の歴史資料や民俗資料を展示しています。ナウマンゾウの頭骨化石をはじめとする様々な歴史資料や農具を中心とした民俗資料など、有史以前から現代に至る北総地区の生活のあゆみがわかる資料館です。



滑河文化財保存展示施設



三里塚御料牧場記念館



下総歴史民俗資料館

(7) 令和7年度 生涯学習課事業計画

事業名や実施団体等			開催時期等
青少年教育の充実	団体活動の支援	青少年育成市民会議	・ 青少年音楽祭 10月7日
		青少年相談員 連絡協議会	・ オールナイトハイク 7月25日、26日 ・ 青少年交流綱引き大会 2月15日
		子ども会 育成連合会	・ 第1回体験事業 8月25日 ・ 第2回体験事業 3月1日 ・ 子ども会まつり 2月1日
	リーダー養成	ジュニアリーダー 養成事業	・ ジュニアリーダー養成研修会 10月5日
	情操教育	青少年劇場	・ 小学生・一般向け公演 12月6日、7日 ・ 中学生向け公演 11月中
	社会参加	成人式	・ 令和8年成田市成人式 1月11日 当該年度に二十歳となる成人式対象者で組織した成人式実行委員会 会で企画・運営
学習機会の充実	家庭教育	家庭教育学級	各小中義務教育学校、幼稚園、保育園、認定こども園で開催
		子育て学習講座 思春期子育て講座	就学時健康診断や入学説明会時に各学校で開催
	青少年教育	放課後子ども教室	遠山小学校・豊住小学校・八生小学校・公津小学校・加良部小学校・中台小学校・公津の杜小学校・下総みどり学園で開催
		小学校支援地域本部	成田小学校・遠山小学校・久住小学校・八生小学校・公津小学校・向台小学校・新山小学校・吾妻小学校・玉造小学校・中台小学校・神宮寺小学校・平成小学校・本城小学校・美郷台小学校・成田中学校・久住中学校・吾妻中学校・玉造中学校・公津の杜中学校・中台中学校・下総みどり学園

事業名や実施団体等			開催時期等
学習機会の充実	成人教育	高等学校等開放講座	<p>【県立下総高等学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初級パソコン講座 7月26日～8月30日 全5回 <p>【県立成田国際高等学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初級英語講座 8月2日～8月30日 全5回 ・中級英語講座 8月2日～8月30日 全5回 <p>【私立成田高等学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・謎解きで脳トレ 10月4日～11月15日 全5回 ・化学と人間生活 10月4日～11月15日 全5回 <p>【成田国際福祉専門学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初級簿記 12月27日～2月14日 全5回
		明治大学・成田社会人大学	<p>6月14日～11月29日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会課程 揺れ動く国際情勢－戦後80年を迎える世界と日本－ ・現代時事課程 変わる日本の政治、経済、社会
		生涯学習講演会	1月24日
	高齢者教育	生涯大学院	<p>5月9日～3月11日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養講座 成田の歴史、健康、環境問題等の一般教養（各学年 年間20回程度） ・専門講座 書道、園芸、陶芸、絵画、音楽、体操（選択制 年間15回）
地域社会教育活動の充実	団体活動の支援	P T A 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・市P T Aバレーボール大会 6月14日 ・市P T A運営研究大会、家庭教育・地域教育力向上講演会 7月12日
		成田ユネスコ協会	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流事業「日本の香りをあなたに」毎月第3火曜日 ・「成田の珍百景写真展」8月2日～8月8日 ・世界寺子屋運動・世界遺産活動
文化財保護	文化財保護啓発事業		<ul style="list-style-type: none"> ・史跡めぐり、博物館めぐり、歴史講演会 ・下総歴史民俗資料館企画展

2 公 民 館

(1) 魅力ある公民館活動の推進

公民館は、生涯学習の身近な拠点として市民が組織的に行う自主的な学びを尊重・奨励・援助するとともに、多様化する地域課題を解決するために各種主催事業を実施し、地域住民の教養文化の向上、仲間づくりの場の提供などを図ることで、公民館の目的である、人づくり・つながりづくり・地域づくりの実現に努めます。

(2) サークルの育成・活用の推進

公民館を生涯学習の場として、多くのサークルが継続的に利用しています。従来のサークルは、公民館主催の講座や教室から生まれたものが主流でしたが、近年では、共通の趣味や関心・興味を持つ人同士が集まり自主的な学習サークルを結成し、活動するものが多くなっています。こうしたサークルの学習活動を支援するとともに、サークルの育成や社会貢献活動を推進しています。
(令和7年4月1日現在で445団体)

(3) 公民館ボランティア推進事業

公民館では、地域住民に学習の場を提供するだけでなく、サークル会員が公民館サークル等の活動で培った技術や知識を活用し、公民館主催講座等でボランティア講師として活躍していただけるよう、サークル主導型の事業を推進しています。

(4) こども体験学習セミナー

子どもたちの生活体験や自然体験など様々な体験活動や仲間づくりを支援するため「こども体験学習セミナー事業」を実施しています。

高学年の部では、子どもたちが自分達で企画・実施する体験活動を通じて「自ら学び・自ら考える力」の育成を図ることを目的とした「なりた冒険塾」を全7回に渡り開催しています。

また、低学年の部ではものづくりをテーマとして、親子で自然の力を利用してアイスクリームを作り、食品の原材料に関心を持つきっかけをつくる「アイ

スクリームをつくろう」や、稲わらで縄を編んでリースや正月飾りを作り、自然や伝統工芸に触れる体験をする「稲わらのリースをつくろう」などを開催しています。



こども体験学習セミナー（なりた冒険塾）

(5) 広報活動の充実

公民館活動を活発にするため、市の広報誌をはじめ、公民館だよりや各種事業のチラシ、ポスターを作成するとともに、市のホームページや公式LINE、成田市公民館X、「まなび&ボランティアサイト」などを活用した情報発信を行うなど、年間をとおして広報活動の充実を図ります。

(6) 令和7年度 公民館主催教室・講座計画

令和7年5月1日現在

No.	事業名	会場	開催時期	回数	定員	対象
1	外国人のための日本語教室（4クラス）	中央	通年	130	-	外国人
2	親子たけのこ掘り体験教室	八生	4月	1	8組	小学生と保護者
3	英会話フレンドリーサロン	中央	5月～6月	5	20人	一般
4	にこにこ親子広場	中郷	5月～7月	6	15組	1歳6か月～3歳の子と保護者
5	苔玉作り教室	大栄	6月	1	12人	一般
6	ベビーマッサージ教室	中郷	6月～7月	3	10組	生後3～8か月の子と母親
7	なりた冒険塾	中央	6月～12月	7	25人	小学4～6年生
8	親子体験学習セミナー	中央	6月～12月	3	15組	小学1～3年生と保護者
9	なりた郷土史セミナー	中央	6月～12月	5	30人	一般
10	やさしいピラティス教室	久住	7月	3	12人	一般
11	夏休み親子工作教室	久住	7月	1	20組	小学生と保護者
12	夏休みこどもまんが・イラスト教室	橋賀台	7月	4	20人	小学生
13	夏休み親子科学実験教室	中央	8月	1	30組	小学生と保護者
14	夏休み親子ロボット工作教室	下総	8月	2	25組	小学生4～6年生と保護者
15	夏休み親子蕎麦打ち教室	中央	8月	1	10組	小学生と保護者
16	夏休みこども日本語教室	中央	8月	3	20人	外国人の小中学生
17	夏休み親子施設見学	中央	8月	1	20組	小学生と保護者
18	わらべうた講座	中央	9月	3	15組	0～3歳の子と保護者
19	予防医療セミナー	中央	9月	2	30人	一般
20	パン作り教室	成田	9月	2	12人	一般
21	玉造ファミリーコンサート	中央	9月	1	150人	一般
22	日本語ボランティア養成講座	中央	9月～2月	6	20人	一般
25	子育て世代のためのリフレッシュサロン	中央	11月	2	15人	満1歳～小学校就学前の子を持つ保護者
26	ナイトヨガ教室	中央	11月	3	20人	女性
27	整理整頓講座（明治安田生命出張講座）	中央	11月	1	25人	一般
28	下総地区歴史散歩	下総	11月	1	20人	一般
29	ホールでピアノを弾いてみよう	大栄	11月	1	9人	一般
30	実用書道（筆ペン）教室	橋賀台	11月	3	20人	一般
31	籐かご作り教室	豊住	11月～12月	1	15人	一般
32	こども生け花体験教室	八生	12月	1	20人	小中学生
33	お菓子作り教室	遠山	12月	1	10組	小学生と保護者
34	小学生書初め教室	中央	12月	1	20人	小学生
35	クリスマスリース作り教室	加良部	12月	1	15人	一般
36	正月用生け花教室	大栄	12月	1	15人	一般
37	健康のためのバレエストレッチ教室	玉造	11月～12月	6	15人	女性
38	子育てふれあい講座	中央	1月	3	20人	子を持つ保護者
39	ZUMBA入門教室	中央	1月	3	20人	一般
40	初めての韓国語講座	中央	1月～2月	5	15人	一般
41	シニアライフいきいき講座	八生	1月～3月	3	20人	高齢者
42	ラテアート教室	中央	2月	1	20人	一般
43	シニア向けスマートフォン教室	中央	2月～3月	2	30人	高齢者
44	水墨画教室	公津	2月～3月	5	18人	一般
45	遠山地区歴史散歩	遠山	3月	1	20人	一般
46	公津しだれ桜ふれあいまつり	公津	3月	2	200人	どなたでも

(7) 令和6年度 公民館利用状況

単位：人

公 民 館 名	開館 日数	主催事業	行政関係	サークル 関 係	その他 団 体	その他 利 用	図 書	合 計
中央公民館	324	3,842	4,378	45,584	6,667	8,705	-	69,176
公津公民館	292	37	2,794	8,015	1,437	4	546	12,833
久住公民館		105	663	2,142	467	61	918	4,356
橋賀台公民館		55	160	6,675	499	6	687	8,082
玉造公民館	288	112	870	11,440	2,377	22	2,955	17,776
豊住公民館	290	14	824	1,856	243	0	308	3,245
成田公民館	292	17	986	1,657	2,582	20	4,711	9,973
八生公民館	285	63	1,110	4,911	417	15	429	6,945
中郷公民館	292	497	808	5,231	380	1	289	7,206
加良部公民館		16	141	7,524	1,271	12	517	9,481
遠山公民館		77	222	4,334	290	23	373	5,319
下総公民館		12	1,990	9,201	1,329	51	1,237	13,820
大栄公民館		51	3,167	7,541	2,191	433	2,023	15,406
合 計	—	4,898	18,113	116,111	20,150	9,353	14,993	183,618

※主催事業には主催者・講師等が含まれる。

3 図 書 館

本館を中心に、公津の杜分館と14か所の公民館図書室等により、市内全域に図書館サービスを提供しています。

社会の変化に伴い、公共図書館に求められる機能にも変化が生じ、読書支援だけでなく、地域や市民の課題解決を支援する機能の充実が求められてきていることから、これらの情報提供サービスを図書館が実施するサービスとして位置付けるとともに、これからの図書館の在り方を検討し、新たな運営方針を定め、目指すべき図書館の姿を実現するため「成田市立図書館サービス計画」(計画期間：令和3年度から令和12年度まで)を策定しました。

また、令和5年3月には、子どもの読書環境の向上に努めるべく「第2次成田市子どもの読書活動推進計画」(計画期間：令和5年度から令和9年度まで)を策定しました。

これらの計画に基づき、各種事業を実施し、市民にとって魅力ある図書館を目指していきます。

(1) 図書館サービスの充実

① 利用者の利便性の向上

図書等の自動貸出機の設置やJR成田駅への返却ポストの設置、インターネットコーナーの座席管理システムを導入するなど、利用者の利便性の向上を図っています。また、本館には予約受取コーナーを設け、本館及び公津の杜分館には自動返却仕分機を設置するなど、手続きの簡素化や効率化を図っています。また、非来館型サービスとして電子書籍サービスの提供、資料の予約や貸出期限の延長及びインターネットコーナーの予約などのオンラインサービスを提供しています。

② 情報提供機能の充実

地域を支える情報拠点として、市民の生活、文化、生涯学習、レクリエーションなど、各分野の課題解決を支援するための情報提供機能の充実と、積極的な情報発信を図っていきます。

本館及び公津の杜分館にはインターネットコーナーを設置し、本館の参考資料室では、外部のオンラインデータベースや国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスが利用できる環境を整えています。

また、様々な調査依頼に対して的確かつ迅速に処理するために、過去のレファレンス事例のデータベース化に努めているほか、令和7年12月より図書の横断検索機能を図書館ホームページへ実装する予定です。

③ 資料の収集・整理

資料の収集・整理・除籍を積極的に行い、魅力ある蔵書構成の維持に努めています。除籍した資料は、リサイクルコーナーやイベント会場などで、利用者等へ無料で配布し有効活用しています。

④ 各種講座の開催

幅広い利用者層からなる市民のニーズや地域の課題に沿った講座を開催し、市民の興味関心に応えます。



講座の様子

(2) 子どもの読書活動の推進

① 図書館でのおはなし会

本館では、毎週土曜日に幼児から小学生向けにおはなし会を開催しています。絵本の読み聞かせ中心の会のほか、毎月第3土曜日は、おはなし（語り）を中心にしたプログラムで行います。昔話などのおはなし（語り）では、絵本と違い、絵のイメージにしばられることなく耳から聞いたおはなしの世界を自由に想像し、楽しむことができます。語りを聞く経験は、「言葉」による想像力を育み、読書へとつなぐ架け橋の役目も果たしてくれます。

また、乳幼児期から読書に親しむ機会を提供し、読み聞かせなどによる子どもへの働きかけの重要性を保護者に理解してもらうために、「えほんとおそぼうー0・1歳のおはなしかいー」及び「えほんとおそぼうー2・3歳のおはなしかいー」を開催し、絵本の読み聞かせ、わらべうたあそび、絵本の紹介などを行っています。

「はるやすみおはなしかい」及び「なつやすみおはなしかい」は、司書とおはなしボランティアグループの共催で行い、おはなしや絵本だけでなく、小道具を使った楽しいプログラムを取り入れ、たくさん子どもたちに読書への誘導を図っています。

公津の杜分館においても、毎月第2・第4火曜日の定例のおはなし会のほか、「杜のなつやすみおはなしかい」及び「杜のふゆのおはなしかい」を開催し、本にふれる機会を広げています。

② 学校訪問おはなし会

多くの子どもたちに直接働きかける取組として、ボランティアの協力を受け、小学校及び義務教育学校（前期課程）を訪問して「おはなし会」を行っています。おはなしや絵本の読み聞かせ、わらべうたなどの手遊びを通じて、豊かな感受性を育みながら読書に対する関心を持たせるよう働きかけ、本の紹介や、図書館、学校図書室のPRも行い、子どもの読書活動の推進に努めています。

③ ボランティアとの連携・支援

おはなし会等の事業を重点的に行うため、ボランティアと協力して勉強会や講座の開催に努め、研修事業なども行っています。また、小学校などで読み聞かせをするボランティアを支援するために、初心者向けの「絵本の読み聞かせ講座」を開催しています。

④ 学校図書館との連携

学校図書館司書との合同研修を実施しています。また、調べ学習に必要な資料など、学校図書館の蔵書では対応できない資料を貸し出し、学校図書館の活動を支援しています。

また、令和5年1月からはGIGAスクール構想の一環として、図書館が提供している電子書籍サービスを、成田市立各学校の児童生徒に配布されているタブレット端末で利用することが可能になりました。

⑤ ブックスタート

保健福祉館で実施する「4か月児赤ちゃん相談」において、職員及びボランティアが絵本の読み聞かせやわらべうたの実演を行い、絵本やアドバイスブックレット等を配布しています。絵本を介して家族の心が触れ合うきっかけを作り、子育て支援という観点から子どもの読書活動を推進しています。

(3) 公津の杜分館・公民館図書室等によるサービス

本館を中心に、公津の杜分館、公民館図書室等をサービスポイントとして市内全域にサービス網を構成し、巡回車で資料を配送しています。また、全館をオンラインで結び、迅速なサービスの提供に努めています。平成25年に開館した公津の杜分館は、もりんぴあこうづ（公津の杜コミュニティセンター）内にあり、蔵書約11万冊を備える大型分館です。子どもと子育て世代へのサービスに重点を置くとともに、高齢者にも配慮したくつろぎ空間のある閲覧スペースを設け、滞在型の利用にも対応できるようにしています。

(4) 障がい者サービス

身体上の理由で図書館の利用が困難な方々に対し、資料の宅配や録音図書の貸出しを行っています。また、大活字本や拡大読書器、音声読書器による読書支援や音訳協力者養成講座を実施しています。

(5) 令和7年度 図書館事業計画（抜粋）

事業名	開催時期等	内 容
図書館講座	通年	6月に「子ども向け図書館講座」、7月に「児童講座（科学あそび）」、8月に「学生向け講座」、1月に「市史講座」を開催予定
定例会 おはなし会	通年	えほんのおはなしかい：4歳～小学生対象 おはなしかい：5歳～小学生対象 0・1歳のおはなしかい：0・1歳児とその保護者対象 2・3歳のおはなしかい：2・3歳児とその保護者対象
季節の おはなし会	各1回	はるやすみおはなしかい：3歳～小学生とその保護者対象 なつやすみおはなしかい：3歳～小学生とその保護者対象 大人のためのおはなし会：16歳以上対象
公津の杜 おはなし会	通年	杜のおはなしかい：3歳～小学生対象
	各1回	杜のなつやすみおはなしかい：4歳～小学生とその保護者対象 杜のふゆのおはなしかい：4歳～小学生とその保護者対象
学校訪問 おはなし会	随時	市内の小学校及び義務教育学校（前期課程）を職員とボランティアが訪問し、おはなし会を実施。日頃、親しんでいる種類や分野とは違う本にも興味を持たせ、読書の幅を広げるきっかけづくりをサポートします。
絵本の読み 聞かせ講座	1回	小学校などで読み聞かせをしている人、今後活動予定の人を対象に、講座を開催します。
音訳協力者 養成講座	8回	録音図書の充実や品質向上を目的とし、録音図書製作のための講座を開催します。

資 料 展 示	通年	1 階特設展示コーナーと児童展示コーナーでは、2 か月ごとに図書館資料の企画展示を行います。2 階展示コーナーでも郷土資料などを中心に年 2 ～ 3 回企画展示を行います。
公津の杜資料展示	通年	一般展示コーナーと児童展示コーナーでは、1 ～ 2 か月ごとに図書館資料の企画展示を行います。
蔵 書 点 検	1 0 月 6 日～ 1 0 月 1 0 日	資料の円滑な活用を図るために、蔵書の一斉点検を行います。

(6) 令和 6 年度 図書館資料点数及び利用状況

館 名	資料点数（令和7年3月31日現在）							資料貸出利用人数及び貸出点数				
	図書（冊）		雑誌 （冊）	AV （点）	録音 図書 備品等 （点）	電子 書籍 ※1 （点）	合 計	開館 日数 （日）	利用 人数 （人）	一日 平均 （人）	貸出 冊数 （点）	一日 平均 （点）
	一般書	児童書										
本 館	531,222	186,712	42,574	13,517	1,102	35,218	810,345	272	160,580	590	601,992	2,213
公 津 の 杜 分 館	82,935	25,586	1,682	0	7	0	110,210	272	60,675	223	230,163	846
公 津 公 民 館 図 書 室	2,961	3,368	80	0	0	0	6,409	259	546	2	1,321	5
久 住 公 民 館 図 書 室	1,795	2,430	74	0	0	0	4,299	258	918	4	3,423	13
橋 賀 台 公 民 館 図 書 室	3,082	2,612	70	0	0	0	5,764	259	687	3	1,816	7
玉 造 公 民 館 図 書 室	3,864	3,428	108	0	0	0	7,400	255	2,955	12	7,997	31
豊 住 公 民 館 図 書 室	1,909	2,287	55	0	0	0	4,251	257	308	1	777	3
成 田 公 民 館 図 書 室	25,707	11,498	368	0	0	0	37,573	259	4,711	18	16,373	63
加 良 部 公 民 館 図 書 室	3,523	3,505	60	0	0	0	7,088	259	517	2	1,163	4
中 郷 公 民 館 図 書 室	2,511	3,208	48	0	0	0	5,767	258	289	1	778	3
遠 山 公 民 館 図 書 室	3,042	2,862	42	0	0	0	5,946	259	373	1	725	3
八 生 公 民 館 図 書 室	3,326	2,925	41	0	0	0	6,292	252	429	2	1,152	5
美郷台地区会館 図 書 室	2,750	3,081	172	0	0	0	6,003	259	1,420	5	4,282	17
三里塚コミュニティ センター図書室	4,704	4,438	279	0	0	0	9,421	271	5,127	19	18,296	68
下 総 公 民 館 図 書 室	4,538	2,842	51	0	0	0	7,431	259	1,237	5	3,235	12
大 栄 公 民 館 図 書 室	5,574	4,453	116	0	0	0	10,143	258	2,023	8	7,870	31
図 書 宅 配 便	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	5	—
※ 2	郵 送	—	—	—	—	—	—	—	186	—	565	—
	宅 配	—	—	—	—	—	—	—	14	—	50	—
電子書籍※1	—	—	—	—	—	—	—	364	6,219	17	24,930	68
合 計	683,443	265,235	45,820	13,517	1,109	35,218	1,044,342	—	249,216	—	926,913	—

※1 青空文庫、Project Gutenbergを含む（青空文庫 11,196、Project Gutenberg 19,760）

※2 障がい者サービス

資料編

成田市教育略年表

年	月	できごと
昭和29年 (1954)	3	成田町、公津村、八生村、中郷村、久住村、豊住村、遠山村の7か町村が合併して「成田市」誕生（3月31日）
昭和30年 (1955)	2	滑河町、小御門村、高岡村の1町2村が合併して「下総町」誕生（2月11日）
	4	名木小学校独立
	4	大須賀村、昭栄村の2村が合併して「大栄町」誕生（4月15日）
昭和31年 (1956)	4	長沼小学校が豊住小学校長沼分校となる
	11	成田小プール完成
昭和32年 (1957)	1	下総町の中学校統合、下総中学校設置決まる
	4	下総中学校開校式
	4	新田分校開校し第3小学校創立、大須賀小第3分校が独立し桜田小学校となる
	9	第3小学校を川上小学校と校名改称
昭和33年 (1958)	4	学校保健法に基づき学校医、歯科医、薬剤師を委嘱
	7	成田中屋内運動場完成
昭和34年 (1959)	3	豊住小学校長沼分校廃止
	4	下総町公民館完成
昭和36年 (1961)	11	大栄町学校給食開始
昭和37年 (1962)	4	成田小第1棟校舎完成（市内初の鉄筋校舎）
昭和39年 (1964)	4	統合西中学校開校（公津校舎、八生校舎となる）
	5	「おどり花見」が県指定文化財に指定
	6	成田市青少年問題協議会発足
	6	公津公民館オープン
昭和40年 (1965)	4	龍正院本堂、千葉県文化財に指定
	9	西中校舎完成
昭和41年 (1966)	3	寺台に学校給食センター完成、4月から7小・中学校の給食開始
	4	西中成田校舎設置
昭和42年 (1967)	4	西中の成田・八生・公津校舎を廃止、西中の実質統合となる
	11	高岡小体育館完成
昭和43年 (1968)	3	公津小が旧公津中校舎へ移転
	3	西中屋内運動場完成
	3	下総町で学校給食開始
	7	豊住小プール完成
	8	三里塚小プール完成
	9	市内全小・中学校完全給食実施
	10	小御門小屋内運動場完成
昭和44年 (1969)	2	前林小屋内運動場完成
	4	川上幼稚園開園（園児93名）
	5	成田市老人大学開校
	6	公津小プール完成
	9	滑河小屋内運動場完成
	11	川上幼稚園園舎完成

年	月	できごと
昭和45年 (1970)	2	成田中に武道場完成
	4	中郷中を廃止し、成田中へ統合
	4	成田市史編さん委員会発足
	10	名木小屋内運動場完成
昭和46年 (1971)	3	猿山字和田の砂取場からナウマンゾウの頭骨化石発掘
	4	伊能幼稚園開園（園児84名）
	7	八生小プール完成
	8	船形で宝亀5年（744）の古鐘（重要文化財）発見される
	10	防音校舎第1号三里塚小校舎完成
	11	遠山小、久住第二小、中郷小の防音校舎完成
	11	津富浦小屋内運動場完成
	12	遠山中防音校舎完成
昭和47年 (1972)	4	向台小学校開校
	7	向台小、久住第二小、中郷小、プール完成
	11	東小防音校舎完成
	12	久住第一小防音校舎完成
昭和48年 (1973)	3	公津小屋内運動場完成
	4	加良部小学校、中台中学校開校
	6	公津公民館内成田市視聴覚サービスセンターオープン
	7	遠山小、東小、久住第一小、加良部小プール完成
	10	成田市視聴覚サービスセンター運営委員会発足
昭和49年 (1974)	2	遠山中防音講堂完成
	2	滑河小防音校舎完成
	3	奈土分校を閉校して大須賀小学校へ統合
	3	小御門の森、県指定天然記念物に指定される
	6	久住中防音校舎完成
	7	三里塚小防音講堂完成
	9	学校給食センター玉造分所開設
	10	赤坂公民館オープン
	10	成田市公民館運営審議会発足
	11	大須賀小校舎完成
	12	川上小防音校舎完成
昭和50年 (1975)	3	遠山小、中郷小防音講堂完成
	4	下総町共同利用施設オープン
	4	橋賀台小学校開校
	11	久住第一小防音講堂完成
昭和51年 (1976)	2	下総中防音校舎完成
昭和52年 (1977)	3	新山小学校開校
	3	小御門小防音校舎完成
	3	前林小校舎完成
	3	川上幼稚園園舎完成
	8	新山小校舎完成

成 田 市 教 育 略 年 表

年	月	で き ご と
昭和52年 (1977)	11	豊住小防音校舎完成
昭和53年 (1978)	3	桜田小屋内運動場完成
	4	吾妻小学校、吾妻中学校開校
	5	成田空港開港
	7	橋賀台小プール完成
昭和54年 (1979)	11	豊住中防音校舎完成
	1	八生小屋内運動場完成
	3	久住中防音講堂完成
	3	龍正院銅造宝篋印塔、千葉県文化財に指定される
	3	大須賀小屋内運動場完成
	3	津富浦小校舎完成
	4	中央公民館オープン
	4	学校給食センター玉造分所増設
	7	向台小、加良部小、中台中屋内運動場完成
	7	新山小、吾妻小プール完成
	8	八生小、公津小新校舎完成
	9	川上小屋内運動場完成
	12	成田市就学区域審議会発足
昭和55年 (1980)	2	橋賀台小屋内運動場完成
	3	久住第二小、豊住中防音講堂完成
	3	新山小、吾妻中屋内運動場完成
	3	高岡小防音校舎完成
	7	遠山中、西中プール完成
	7	下総中屋内運動場完成
	9	学校給食センター寺台分所廃止
	10	成田市青少年育成市民会議発足
昭和56年 (1981)	1	吾妻小屋内運動場完成
	3	東小、豊住小防音講堂完成
	4	玉造小学校開校
	6	玉造小プール完成
	7	久住中、豊住中プール完成
	10	三里塚御料牧場記念館オープン
昭和57年 (1982)	2	玉造小屋内運動場完成
	3	成田小屋内運動場完成
	3	名木小防音校舎完成
	4	中台小学校開校
	6	中台小、中台中、吾妻中プール完成
昭和58年 (1983)	4	久住公民館、橋賀台公民館オープン
	4	大須賀中学校と昭栄中学校を統合し、大栄中学校として開校する
	7	老人大学校オープン
	7	第1回成田市公民館まつり開催
昭和59年 (1984)	3	成田中新校舎完成
	3	滑河小屋内運動場完成
	4	玉造公民館、豊住公民館オープン
	10	成田市立図書館オープン
昭和60年 (1985)	4	神宮寺小学校、玉造中学校開校
	6	成田公民館オープン

年	月	で き ご と
昭和60年 (1985)	8	桜田小校舎完成
	12	小御門小屋内運動場完成
昭和61年 (1986)	4	津富浦小屋内運動場完成
	11	寺台河岸跡が市指定文化財に指定される
昭和62年 (1987)	2	取香の三番叟が県指定文化財に指定される
	11	2台目の移動図書館車「こぼと号」運行
昭和63年 (1988)	4	八生公民館オープン
	4	第1回青少年綱引き大会開催
	12	高岡小屋内運動場完成
平成元年 (1989)	1	元号「平成」となる
	3	新公津公民館・中郷公民館オープン
	8	大栄中プール完成
平成2年 (1990)	2	名木小学校体育館完成
	4	平成小学校開校
	4	大栄町学校給食センター完成
	6	下総町学校給食センター完成
	10	新移動図書館車「なかよし号」が「ひかり号」に代わって巡回開始
平成3年 (1991)	4	加良部公民館オープン
	10	美郷台地区会館オープン
	10	下総町多目的ホール完成
	11	大栄町コミュニティプラザホール(現大栄公民館)完成
平成4年 (1992)	2	大慈恩寺所有の古文書が県の有形文化財に指定
	8	名木小プール完成
	9	学校週五日制(第二土曜日休み)開始
	4	本城小学校開校
平成5年 (1993)		
平成6年 (1994)	3	竜台の百康申を市の文化財に指定
	11	成田市文化財保護協会が創立40周年記念式典を開催
	12	「図説成田の歴史」刊行
平成7年 (1995)	2	下総歴史民俗資料館完成
平成8年 (1996)	3	伊能幼稚園、川上幼稚園が統合し大栄幼稚園開園
	5	遠山公民館オープン
	10	遠山公民館内に市民課分室設置
平成9年 (1997)	2	前林小校舎大規模改修工事完成
	4	米飯給食に成田産自主流通米導入
	7	小御門小プール完成
	9	適応指導教室「ふれあいるーむ21」オープン
平成10年 (1998)	2	津富浦小校舎大規模改修・増築工事完成
	4	成田市教育センターオープン
平成11年 (1999)	7	長興院山門、石橋家の住宅門・南の蔵・東の蔵・土蔵などが文部大臣指定の登録文化財に指定

成 田 市 教 育 略 年 表

年	月	で き ご と
平成12年 (2000)	3	「成田市生涯学習推進計画」策定
	4	教育委員会が教育総務部と生涯学習部の2部制に
	9	西中新校舎完成
	10	学校評議員制度開始
平成13年 (2001)	2	前林小屋内運動場完成
	3	「成田市学校教育長期ビジョン」策定
	4	老人大学校を生涯大学校に名称変更
	10	「成田市子ども夢基金」設立
平成14年 (2002)	3	西中屋内運動場完成
平成15年 (2003)	5	構造改革特別区域法の国際教育推進特区に認定される
平成18年 (2006)	3	成田市、下総町、大栄町の1市2町が合併して新「成田市」誕生（3月27日）
	4	公津の杜小学校開校
平成19年 (2007)	3	久住中学校新校舎完成
	4	美郷台小学校開校
	5	生涯大学校の新校舎が囲護台に開校、旧校舎は生涯学習会館と名称変更
平成21年 (2009)	2	「角寺古墳群・岩屋古墳」国史跡に指定
	3	豊住中学校が61年の歴史に幕、成田中学校へ統合
	9	重要文化財南羽鳥中岫1遺跡出土人頭形土製品が大英博物館で展示される
平成22年 (2010)	3	中学校の普通教室にエアコンを整備
平成23年 (2011)	3	小学校の普通教室にエアコンを整備
	3	久住第一小学校と久住第二小学校が閉校
		両校が統合し新たに久住小学校として開校
	3	中郷小学校が閉校し、美郷台小学校へ統合
	8	市史講座「成田の地名と歴史」刊行記念講演会開催
平成25年 (2013)	4	公津の杜中学校開校
	4	公津の杜中学校学校給食共同調理場供用開始
	7	もりんぴあこうづオープン
	7	成田市立図書館 公津の杜分館オープン
平成26年 (2014)	1	成人式を成田空港で開催
	3	東小学校が閉校し、遠山小学校へ統合
	3	下総地区4小学校 (滑河小学校、小御門小学校、 名木小学校、高岡小学校)が閉校
	4	下総地区4小学校を統合した下総小学校が 成田市初の「小中一貫教育校 下総みどり学園（通称）」として開校
	4	本城小学校学校給食共同調理場供用開始
平成27年 (2015)	10	新たな教育委員会制度における教育長が 選任される
平成28年 (2016)	4	佐倉市、香取市、銚子市とともに、 「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の

年	月	で き ご と
平成28年 (2016)	4	町並み」として、日本遺産の認定を受ける 公津の杜小学校学校給食共同調理場供用開始
	7	旧名木小学校が生活介護事業所「ネクスト 名木小」としてオープン
平成29年 (2017)	4	「小中一貫教育校 下総みどり学園（通称）」 が「義務教育学校 下総みどり学園」へ移行 旧豊住中学校が「豊住ふれあい健康館」 としてオープン 機構改革により教育総務部と生涯学習部を 教育部へ
平成30年 (2018)	9	「もりんぴあこうづ来館100万人達成記念 式典」を開催
平成31年 (2019)	3	視聴覚サービスセンター廃止
	4	旧中郷小学校が「中郷ふるさと交流館」 としてオープン
令和元年 (2019)	5	元号「令和」となる
令和2年 (2020)	4	美郷台小学校学校給食共同調理場供用開始
令和3年 (2021)	3	大栄地区5小学校（大須賀小学校、桜田小学 校、前林小学校、津富浦小学校、川上小学校）、 大栄中学校が閉校
	4	義務教育学校 大栄みらい学園」が開校
	4	豊住小学校で小規模特認校制度を導入
	4	GIGAスクール構想による1人1台の学習用 タブレット端末を活用した学習活動の開始
	8	図書館で電子書籍サービスを開始
令和4年 (2022)	4	平成小学校学校給食共同調理場供用開始
	4	旧滑河小学校が「滑河文化財保存展示施設」 としてオープン
	4	第3子以降の給食費無料化制度開始
	9	電子書籍サービスにおいて雑誌の提供を開始
令和5年 (2023)	1	GIGAスクール構想による学習用タブレット 端末での電子書籍サービスが利用開始
	1	食物アレルギー児等学校給食費相当額助成 制度開始
	4	ブックスタート事業において絵本の配布を開始
	4	中学校3年生及び義務教育学校9年生、ひとり 親家庭の児童生徒に係る給食費の無料化制度 開始
	4	学校運営協議会開始
	6	下総みどり学園の体育館に空調を整備
	9	部活動地域移行モデル事業開始
令和6年 (2024)	10	図書館の本館2階に「青春HiROBA（アオハル ひろば）」を開設
令和7年 (2025)	3	中台中学校が「令和7年度子供の読書活動優 秀実践校」として文部科学大臣表彰を受賞

歴代教育長及び教育委員

令和7年10月1日現在

氏 名	委員在任期間	備考(役職)
渡邊 由松	S29. 4.27 ~ S31. 9.30	委員長S29.4.27 ~ S31.9.30
葛生 清三郎	S29. 4.27 ~ S31. 9.30	
佐瀬 三五郎	S29. 4.27 ~ S31. 9.30	
神 崎 正	S29. 4.27 ~ S31. 9.30	
豊 田 操	S29. 5.26 ~ S30. 9.30	教育長S29. 5.26 ~ S30. 9.30
松 岡 明	S29. 5.20 ~ S30. 3.30	
行方 富太郎	S31.10. 1 ~ S32. 9.30	教育長S31.10. 1 ~ S32. 9.30
橋 昌夫	S31.10. 1 ~ S47. 9.30	委員長S31.10. 1 ~ S47. 9.30
岩沢 多門	S31.10. 1 ~ S38. 9.30	
吉岡 栄一郎	S31.10. 1 ~ S47. 9.30	
鈴木 勘	S31.10. 1 ~ S33. 4.17	
太田 家倚	S32.10. 1 ~ S44. 9.30	教育長S32.10. 1 ~ S44. 9.30
野平 吉衛	S33.10. 1 ~ S37. 9.30	
竹尾 クラ子	S37.10. 1 ~ S39.10.20	
檜垣 省吾	S38.10. 8 ~ S42. 5. 9	
藤崎 光枝	S40. 3.24 ~ S44. 9.26	
檜垣 篤	S42. 7. 1 ~ H 4.11.30	教育長S58. 4. 1 ~ H 4.11.30
渋谷 榮一	S44. 9.27 ~ H 2. 9.30	委員長S47.10. 1 ~ H 2. 9.30
阿波寄 武夫	S44.10. 1 ~ S61.10.14	教育長S44.10. 1 ~ S58. 3.31
山田 喜一	S47.10. 1 ~ S55. 9.30	
渡邊 義男	S47.10. 1 ~ H 8. 9.30	委員長H 2.10. 1 ~ H 8. 9.30
谷 重吉	S55.10. 1 ~ H 8. 9.30	
石原 芳文	S61.12. 9 ~ H 9. 9.30	
越 川 重	H 2.10. 1 ~ H10. 9.30	委員長H 8.10. 3 ~ H10. 9.30
中村 欽哉	H 4.12.22 ~ H 7. 9.30	教育長H 4.12.25 ~ H 7. 9.30
三橋 成一	H 7.10. 1 ~ H 8. 8.20	教育長H 7.10. 1 ~ H 8. 8.20
太田 家廣	H 8. 9.12 ~ H10. 5.25	教育長H 8. 9.12 ~ H10. 5.25

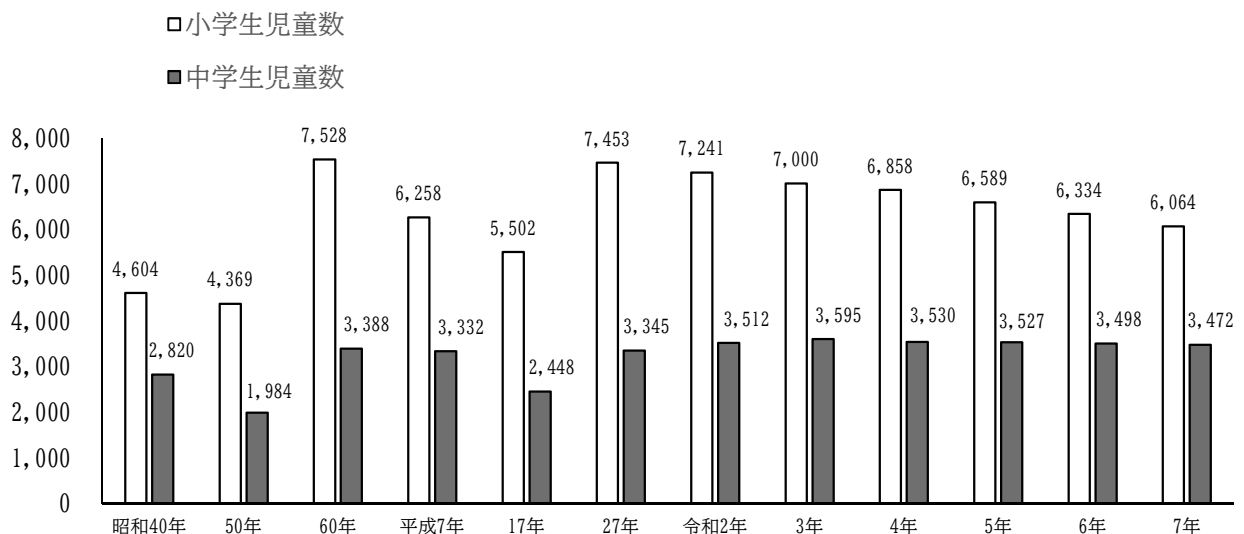
氏 名	委員在任期間	備考(役職)
荒 井 清	H 8.10. 1 ~ H23.3.31	委員長H10.10. 1 ~ H17. 9.30 委員長H18.10. 6 ~ H23. 3.31
大木 みわ	H 8.10. 1 ~ H16.9.30	
塚本 倫正	H 9.10. 1 ~ H13.9.30	
鬼澤 佳弘	H10. 7. 1 ~ H13.6.30	教育長H10. 7. 1 ~ H13. 6.30
伊 藤 睦	H10.10. 1 ~ H18.9.30	委員長H17.10. 1 ~ H18. 9.30
藤野 公之	H13. 7. 1 ~ H16.6.30	教育長H13. 7. 1 ~ H16. 6.30
加瀬間 俊勝	H13.10. 1 ~ H15.1.20	
山口 恵子	H15. 2.19 ~ H25.9.30	
大須賀 久大	H16. 7. 1 ~ H20.4.30	教育長H16. 7. 1 ~ H20. 4.30
小川 信子	H16.10. 1 ~ H24.9.30	委員長H23. 4.27 ~ H24. 9.30
秋山 皓一	H18.10. 1 ~ H26.9.30	委員長H24.10. 1 ~ H26. 9.30
関根 賢次	H20. 6. 7 ~ H21.6.30	教育長H20. 6. 7 ~ H21. 6.30
佐藤 玉江	H21. 7. 1 ~ H25.3.31	教育長H21. 7. 1 ~ H25. 3.31
小川 新太郎	H23. 6.18 ~ R 1.9.30	委員長H26.10. 1 ~ H27. 9.30
高木 久美子	H24.10. 1 ~ R 2.9.30	
関川 義雄	H25. 4. 1 ~ H27.9.30	教育長H25. 4. 1 ~ H27. 9.30
福田 理絵	H25.10. 1 ~ H29.9.30	
佐 藤 勲	H26.10. 1 ~ 現 在	
片岡 佳苗	H29.10. 1 ~ R 7.9.30	
岡本 秀彦	R 1.10. 1 ~ 現 在	
日暮 美智子	R 2.10. 1 ~ R 6.9.30	
高山 勇	R 6.10. 1 ~ 現 在	
磯部 祐子	R 7.10. 1 ~ 現 在	

制度改正(平成27年4月1日施行)後に選任された教育長

氏名	在任期間	就任日
関川 義雄	H27.10. 1 ~ R 6. 9.30	H27.10. 1
日暮 美智子	R 6.10. 1 ~ 現 在	R 6.10. 1

市立学校の児童生徒数の推移

各年5月1日時点



小学校児童数及び中学校生徒数には、それぞれ義務教育学校の前期課程及び後期課程の数を含む。

市立学校・幼稚園一覧

令和7年5月1日現在

学校名	所在地	電話	児童数	学級数	教職員数	校長名	PTA会長名
成田小学校	幸町948番地1	22-1334	597	23	35	石川 智彦	石原 隆志
遠山小学校	小菅1411番地	35-0022	24	4	9	佐藤 淳	鳴海 奈美
三里塚小学校	本三里塚153番地1	35-0049	336	18	26	中村 恆	鈴木 努
久住小学校	久住中央3丁目12番地1	36-0006	481	20	28	實川 弘美	磯部 祐子
豊住小学校	北羽鳥1985番地2	37-0004	42	6	11	柴入 保夫	渡邊 龍平
八生小学校	松崎1468番地	26-8038	72	8	14	佐藤 理恵子	加藤 雄也
公津小学校	台方851番地	26-2467	112	8	13	若海 雄介	飯田 武治
向台小学校	中台3丁目6番地	26-4812	174	9	15	竹尾 幸	平尾 和
加良部小学校	加良部6丁目8番地	26-3517	400	18	26	岩崎 元	小川 拓郎
橋賀台小学校	橋賀台3丁目4番地	27-2531	190	9	15	佐藤 悦子	川島 暁彦
新山小学校	加良部4丁目23番地	26-6767	201	10	17	荒井 実徳	菅谷 龍也
吾妻小学校	吾妻2丁目6番地	27-9060	561	23	37	本間 洋	小松 大祐
玉造小学校	玉造3丁目4番地	28-3133	165	9	15	高橋 和宏	工藤 美香
中台小学校	中台1丁目4番地	27-0753	140	8	16	山口 誠	吉田 征史
神宮寺小学校	玉造5丁目28番地	26-3677	130	9	17	坪内 章晋	會嶋 祐己
平成小学校	飯仲50番地1	22-1361	566	23	31	根本 達也	庭野 隼輔
本城小学校	本城178番地1	35-5533	464	20	28	渡邊 和也	金田 久美子
公津の杜小学校	公津の杜3丁目2番地	29-7770	583	23	33	葉山 憲一	奈良輪 秀幸
美郷台小学校	美郷台2丁目19番地1	23-6011	323	16	23	大嶋 浩	多田 直史
下総みどり学園 (前期課程)	名古屋1214番地	96-0135	203	11	18	大徳 正博	玉田 学
大栄みらい学園 (前期課程)	伊能125番地	73-4820	300	18	27	三村 洋一	小関 杏奈
小学校計		—	6,064	293	454	—	—

※小学校には、義務教育学校の前期課程を含める。

学校名	所在地	電話	生徒数	学級数	教職員数	校長名	PTA会長名
成田中学校	土屋928番地1	22-0304	498	17	36	丸 庸仁	山内 淑央
遠山中学校	大清水19番地	35-0128	410	16	33	藤井 敏	比留間 隆浩
久住中学校	久住中央2丁目1番地	36-0602	219	9	19	小林 孝	木元 優作
西中学校	加良部5丁目11番地	26-2606	444	17	34	藤崎 修治	土田 勝
中台中学校	中台4丁目2番地	26-4201	216	8	20	松本 浩路	漆原 渉
吾妻中学校	吾妻1丁目24番地	26-6167	511	16	32	山田 孝雄	安部 真司
玉造中学校	玉造3丁目7番地	27-0677	197	9	24	荒川 博	飯田 賢司
公津の杜中学校	公津の杜5丁目29番地	20-5511	645	22	43	廣田 一利	井上 貴昭
下総みどり学園 (後期課程)	名古屋1214番地	96-0135	133	8	20	大徳 正博	玉田 学
大栄みらい学園 (後期課程)	伊能125番地	73-4820	199	9	19	三村 洋一	小関 杏奈
中学校計		—	3,472	131	280	—	—

※中学校には、義務教育学校の後期課程を含める。

幼稚園名	所在地	電話	園児数	学級数	教職員数	園長名	PTA会長名
大栄幼稚園	臼作115番地	73-8005	52	3	7	木村 晶子	

社会教育施設一覧

令和7年4月1日現在

施設名	所在地	電話番号	延床面積
中央公民館	赤坂1丁目1番地3	27-5911	2,578㎡
公津公民館	宗吾1丁目839番地1	26-9610	556㎡
久住公民館	幡谷922番地2	36-1646	552㎡
橋賀台公民館	橋賀台1丁目43番地1	26-9695	532㎡
玉造公民館	玉造7丁目21番地	26-3644	550㎡
豊住公民館	北羽鳥2024番地1	37-1003	549㎡
成田公民館	田町299番地2	24-0787	1,603㎡
八生公民館	松崎317番地	27-1533	554㎡
中郷公民館	赤荻1587番地1	22-4614	551㎡
加良部公民館	加良部3丁目4番地1	28-7961	542㎡
遠山公民館	大清水48番地7	35-0600	1,000㎡
下総公民館	高岡1435番地	96-0090	2,489㎡
大栄公民館	松子393番地	73-7071	2,706㎡
成田市立図書館	赤坂1丁目1番地3	27-4646	5,179㎡
成田市立図書館公津の杜分館	公津の杜4丁目8番地	27-7100	1,011㎡
三里塚御料牧場記念館	三里塚御料1番地34	35-0442	422㎡
下総歴史民俗資料館	高岡1500番地	96-0080	666㎡
滑河文化財保存展示施設	滑川1142番地	96-0024	1,428㎡
生涯大 학교	団護台1385番地6	20-3339	551㎡
生涯学習会館	花崎町523番地1	22-3958	332㎡
美郷台地区会館	美郷台3丁目3番地9	24-4352	605㎡

学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧

令和7年4月1日

学 校 名	学 校 医			学校歯科医		学校薬剤師	
	内 科(*相談医)		耳鼻科	眼 科			
成 田 小 学 校	*大田 暁		池宮城慶寛	土井 靖子	中村 始 諸岡 治	日暮 寛之 新井 孝男	大徳 秀幸
	藤倉 國男 長谷川 修						
	小田 優子						
遠 山 小 学 校	*太田不二雄		橘 昌利	土井 靖子	岡本 英彦		鈴木 廣邦
三里塚小学校	*平野 憲朗	加地さとみ	山本陸三朗	土井 靖子	中村 始	藤崎 芳明	鈴木 廣邦
久 住 小 学 校	*京増 芳則	佐久間恵一	池宮城慶寛	伊豫田 稔	田中 和典 清水 俊宏	大野 康央	秋葉 政宏
	森 徳郎						
豊 住 小 学 校	*平野 憲朗		橘 昌利	加部東武徳	大野 康央		平間多美代
八 生 小 学 校	*京増 芳則		池宮城慶寛	加部東武徳	伊東 総一郎		平間多美代
公 津 小 学 校	*木下 真子		橘 昌利	保津 治道	平田 収		梅澤 功
向 台 小 学 校	*安 徳純		池宮城美由子	加部東武徳	萩原 大輔		三橋 恒子
加良部小学校	*黄 重毅	里見 久恵	山本陸三朗	加部東武徳	平田 収 萩原 領一	永井 和広	高山 修
	渡辺 智之						
橋賀台小学校	*渡邊 剛毅		山本陸三朗	保津 治道	栗田 隆史		木内 規之
新 山 小 学 校	*安 徳純	塚田 雄大	山本陸三朗	保津 治道	大木 康有	萩原 大輔	穴倉 弘記
吾 妻 小 学 校	*立花智津子	今村 榛樹	池宮城美由子	宇高 靖	齊藤 政治 新井 孝男	阿部 智之 青木 雅憲	下田健一郎
	佐久間恵一	黒田 聖子					
玉 造 小 学 校	*小田 龍二		池宮城美由子	宇高 靖	鳥山 栄		眞鍋 知史
中 台 小 学 校	*中島 正之		池宮城美由子	井上 順治	池田 信子		板谷 徹
神宮寺小学校	*片岡 満男		池宮城美由子	宇高 靖	林田 弘毅		板谷 徹
平 成 小 学 校	*内山 明江	石神 博昭	橘 昌利	井上 順治	諸岡 治 小出 正義	野内 一嘉	遠藤 喜成
	里見 久恵						
本 城 小 学 校	*麻野 次男	大田 暁	山本陸三朗	宇高 靖	鈴木 正徳 高橋 洋樹	岡田 秀彦	鈴木美知代
	伊藤 眞綱						
公 津 の 杜 小 学 校	*黒田 央文		橘 昌利	保津 治道	伊藤 健二 青柳 和孝	日暮 寛之 阿部 智之	仲野 秀典
	木下 真子	伊藤けい子					
	鈴木ティバリュウ浩志						
美郷台小学校	*木内宗三郎	小倉 一久	池宮城慶寛	土井 靖子	鈴木 正徳	伊東総一郎	石井 通子
成 田 中 学 校	*藤倉 國男	石原 輝英	池宮城慶寛	伊豫田 稔	岡本 英彦 伊東 総一郎	栗田 隆史	大徳 秀幸
	長谷川 修						
遠 山 中 学 校	*伊藤 真典	太田不二雄	山本陸三朗	井上 順治	角田 幸弘	渡部 一郎	鈴木美知代
久 住 中 学 校	*小倉 一久	今村 榛樹	池宮城慶寛	伊豫田 稔	栗田 隆史	大野 康央	秋葉 政宏
西 中 学 校	*石神 博昭	櫻田 正也	山本陸三朗	加部東武徳	永井 和広 清水 俊宏	富澤 圭一	木内 規之
	内山 明江						
中 台 中 学 校	*立花 浩幸	渡邊由希子	池宮城美由子	井上 順治	萩原 研一	高橋 洋樹	三橋 恒子
吾 妻 中 学 校	*川島 明	中島 正之	池宮城美由子	宇高 靖	萩原 領一 中村 鉄平	岩松 晃弘	下田健一郎
	加地 さとみ						
玉 造 中 学 校	*尾崎 晴彦	府川 泰輔	池宮城美由子	加部東武徳	鳥山 栄	野内 一嘉	眞鍋 知史
公津の杜中学校	渡邊 剛毅(健康管理医)		橘 昌利	保津 治道	青柳 和孝 岩松 晃弘	齊藤 政治 青木 雅憲	穴倉 弘記
	木内宗三郎 中町 裕						
	黄 重毅						
下総みどり学園	前 矢野 潔(健康管理医)		池宮城慶寛	伊豫田 稔	角田 幸弘	岩松 晃弘	金子 泰史
	根本 明久						
	後 根本 明久						
大栄みらい学園	前 森 徳郎(健康管理医)		山本陸三朗	土井 靖子	藤崎 芳明	小太刀真人	木内 茂喜
	藤崎 安明						
	後 横山 裕亮 清田 育男						
大 栄 幼 稚 園	石原 輝英		池宮城慶寛	土井 靖子	入田 雅之		鈴木美知代

市内指定文化財等一覧

国指定文化財一覧 (重要文化財)

令和7年3月31日現在

番号	種別	名 称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備 考
1	建 造 物	龍 正 院 仁 王 門	滑 川	龍 正 院	延 5. 5. 24	1棟	室町時代中頃の建築
2		旧 御 子 神 家 住 宅	大 竹	千 葉 県	昭和44. 6. 20	1棟	房総のむらへ移築復元、安永8年(1779)建立
3		旧 学 習 院 初 等 科 正 堂	大 竹	千 葉 県	昭和48. 6. 2	1棟	房総のむらへ移築復元、明治32年(1899)建立
4		新 勝 寺	成 田	新 勝 寺	昭和55. 5. 31	5棟	
		(光 明 堂)					元禄の旧本堂、元禄14年(1701)建立
		(釈 迦 堂)					安政の旧本堂、安政5年(1858)建立
		(三 重 塔)					正徳2年(1712)建立
		(仁 王 門)					文政13年(1830)建立
		(額 堂)					文久元年(1861)建立
5	彫 刻	木造不動明王及二童子像	成 田	新 勝 寺	昭和39. 5. 26	3躯	新勝寺の本尊
6	書 跡・典籍	住 吉 物 語	田 町	成 田 山 仏 教 図 書 館	昭和43. 4. 25	1帖	鎌倉時代中期の擬古物語
7	考 古 資 料	南羽鳥中岫1遺跡土坑出土品	栄 町	成 田 市	平成15. 5. 29	一括	人頭形土製品をはじめ縄文時代前期の土器・耳飾り・垂飾品など。 千葉県立房総のむら、風土記の丘資料 館蔵
8	史 跡	龍角寺古墳群・岩屋古墳	大 竹 他 町・成 田 市・個 人	国・千 葉 県・栄 町・成 田 市・個 人	平成21. 2. 21		追加指定・名称変更（岩屋古墳：昭和16. 1. 27）

(登録文化財)

番号	種別	名 称	所在地	所有者又は管理者	登録年月日	員数	備 考
1	建 造 物	長 興 院 山 門	伊 能	長 興 院	祓11. 7. 8	1棟	木造楼門、瓦葺、建築面積22㎡
2		石 橋 家 住 宅 門	久 井 崎	個 人	祓11. 7. 8	1棟	木造平屋建、瓦葺、建築面積5㎡
3		石 橋 家 住 宅 南 の 蔵	久 井 崎	個 人	祓11. 7. 8	1棟	土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積31㎡
4		石 橋 家 住 宅 東 の 蔵	久 井 崎	個 人	祓11. 7. 8	1棟	土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積30㎡
5		石 橋 家 住 宅 土 蔵	久 井 崎	個 人	祓11. 7. 8	1棟	土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積40㎡
6		一 粒 丸 三 橋 薬 局 店 舗	仲 町	個 人	祓22. 1. 15	1棟	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積63㎡
7		一 粒 丸 三 橋 薬 局 土 蔵	仲 町	個 人	祓22. 1. 15	1棟	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積42㎡
8		川 豊 本 店 店 舗	仲 町	川 豊	舗 2. 4. 3	1棟	木造3階建、金属板葺、建築面積146㎡
9		旧 下 総 御 料 牧 場 (三 里 塚 記 念 公 園) 貴 賓 館	三 里 塚 御 料	成 田 市	舗 6. 12. 3	1棟	木造平屋建、茅葺一部瓦葺、建築面積279㎡
10		旧 下 総 御 料 牧 場 (三 里 塚 記 念 公 園) 防 空 壕	三 里 塚 御 料	成 田 市	舗 6. 12. 3	1棟	鉄筋コンクリート造

県指定文化財

番号	種別	名 称	所在地	所有者又は管理者	指定・認定 年月日	員数	備考
1	建 造 物	龍 正 院 本 堂	滑 川	龍 正 院	龍40. 4. 27	1棟	附 厨子一基 元禄11年(1698)建立
2		旧 平 野 家 住 宅	大 竹	千 葉 県	龍47. 1. 28	1棟	房総のむらへ移築復元、江戸中期末の民家
3		龍 正 院 銅 造 宝 篋 印 塔	滑 川	龍 正 院	龍54. 3. 2	1基	附 銅造棟札1枚 享保3年(1718)鑄造の棟札
4	彫 刻	銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像	大 竹	円 光 寺	龍57. 4. 6	3躯	延慶2年(1309)銘
5		木 造 薬 師 如 来 坐 像	船 形	薬 師 寺	穢 4. 2. 28	1躯	鎌倉時代
6		木造阿弥陀如来及び両脇侍像	冬 父	迎 接 寺	穢 5. 2. 26	3軀	平安時代末～鎌倉時代
7		木 造 金 剛 力 士 立 像	船 形	薬 師 寺	穢10. 3. 20	2躯	鎌倉時代
8	工 芸	半 円 方 格 帯 変 形 神 獸 鏡	土 屋	成 田 山 霊 光 館	龍43. 4. 24	1面	下方、浅間下の通称丸塚より出土
9		梵 鐘(乾 元 二 年 在 銘)	土 室	祥 鳳 院	龍44. 1. 10	1口	1303年
10		梵 鐘(応 長 元 年 在 銘)	宗 吾	薬 師 寺	龍48. 3. 2	1口	1311年(東勝寺蔵)
11		梵 鐘(延 慶 三 年 在 銘)	吉 岡	大 慈 恩 寺	龍49. 3. 19	1口	1310年
12		鑄 銅 雲 版(応 永 十 五 年 在 銘)	台 方	超 林 寺	龍52. 3. 8	1面	1408年
13		鑄 銅 鰐 口(永 正 十 三 年 在 銘)	高 岡	龍 正 院	龍57. 4. 6	1口	1516年(成田市下総歴史民俗資料館にて展示)
14	古 文 書	天 正 検 地 帳 (下総国香取郡遠山之庄御縄水帳) (下総国香取郡金山郷御縄打之水帳)	赤 坂	個 人	龍57. 4. 6	2冊	天正19年(1591)の検地帳(市立図書館蔵)
15	考 古 資 料	新 勝 寺 板 石 塔 婆 二 基 (延 元 元 年、明 徳 五 年 在 銘)	成 田	新 勝 寺	龍34. 4. 24	2基	下総式板碑延元元年(1336)、明徳5年(1394)銘
16		猫 作・栗 山 古 墳 群 第1 6 号 墳 副 葬 品	高 岡	成 田 市	穢 6. 2. 22	一括	石枕3点、立花15点ほか
17	歴 史 資 料	大 慈 恩 寺 宝 物 類	成 田	大 慈 恩 寺	穢 5. 2. 26	73点	古文書類51点、絵画19点、金銅装箱3点
18	無 形 文 化 財	武 術 天 真 正 伝 香 取 神 道 流	下 福 田	大 竹 信 利	穢16. 3. 30		認定者 大竹信利
19	有 形 民 俗 文 化 財	迎 接 寺 の 鬼 舞 面	千 葉 市	迎 接 寺	龍29. 12. 17	13面	附衣裳11点 菊紋葵紋付桐箱1合
20		新 勝 寺 絵 馬 類	土 屋	成 田 山 霊 光 館	龍38. 5. 4	22面	天保2年～明治35年(1902)奉納 (昭和54年6月15日に内容告示)
21		成 田 の 商 業 用 具	土 屋	成 田 山 霊 光 館	龍50. 12. 12	100点	成田山講社定宿の看板ほか

県指定文化財

番号	種別	名 称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備 考
22	有形民俗文化財	楽満寺の安産子育て祈願関係資料	中里	楽満寺	平成29. 3. 7		4件42点（板絵馬19・ガラス絵馬19・背負観音厨子2・如意輪観音掛軸版木2）
23	無形民俗文化財	成田のおどり花見	成田	成田市おどり花見保存会	昭和39. 4. 28		国記録選択 江戸時代より伝承された弥勒おどり
24	無形民俗文化財	取香の三番叟	成田	取香三番叟保存会	昭和62. 2. 27		毎年4月第1土曜日に奉納される
25	史 跡	小野派一刀流流祖小野次郎右衛門忠明・二代小野次郎右衛門忠常墓	寺台	永興寺	昭和18. 4. 30		小野派一刀流流祖・二代の墓
26		八代玉作遺跡	玉造	成田市	昭和41.12. 2		管玉を主とした古代玉作遺跡
27		公津原古墳群	赤他	成田市他	平成 2. 3. 16	40基	5世紀～7世紀の築造
28	天然記念物	小御門神社の森	名古屋	小御門神社	昭和49. 3. 19		16,881㎡
29	記念物	麻賀多神社の森	台方	麻賀多神社	昭和52. 3. 8		6,386㎡の杜叢林

県登録文化財

番号	種別	名 称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備 考
1	建造物	成田市立三里塚小学校煉瓦門（旧陸軍鉄道大隊駐屯地門）	本三里塚	成田市	令和 6. 2. 7	1基	明治43年（1910）に旧陸軍鉄道駐屯地門とし建てられたものを三里塚小学校へ移築

市指定文化財

番号	種別	名 称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備 考
1	建造物	薬師堂	上町	新勝寺	昭和44.11. 3	1棟	明暦の旧本堂 明暦元年(1655)建立
2		鐘	楼成田	新勝寺	昭和44.11. 3	1棟	元禄14年(1701)建立
3		一切経蔵	成田	新勝寺	昭和44.11. 3	1棟	享保7年(1722)建立
4		清瀧権現堂	成田	新勝寺	昭和44.11. 3	1棟	享保17年(1732)建立
5		石造多層塔	大竹	円光寺	昭和44.11. 3	1基	七層の石塔 応永10年(1403)銘
6		麻賀多神社本殿	台方	麻賀多神社	昭和46.11. 3	1棟	寛文13年(1673)建立
7		輪転経蔵	成田	新勝寺	昭和47.11. 3	1棟	享保8年(1723)の建造
8		龍正院宝篋印塔群	滑川	龍正院	昭和54. 3. 1	11基	慶長4年(1599)～寛永11年(1634)
9		山王社（本殿）	奈土	昌福寺	昭和49. 6. 25	1棟	
10	絵 画	絹本着色尊阿弥陀三尊来迎図	郷部	観音堂宝物会	平成10.12.25	1幅	江戸時代初期
11	彫 刻	木造阿弥陀如来坐像	土屋	薬王寺	昭和44.11. 3	1躯	鎌倉時代
12		木造延命地藏菩薩立像	幡谷	延命院	昭和45.11. 3	1躯	鎌倉時代
13		十一面観世音菩薩立像	稲荷山	個人	昭和55. 5. 12	3躯	中国「唐」時代の渡来仏か
14		木造聖観音坐像	寺台	永興寺	昭和60. 2. 1	1躯	応永6年(1399)銘
15		木造観音菩薩立像	土室	土室台郭観音様保存会	平成元.12.20	1躯	南北朝時代
16		木造虚空蔵菩薩坐像	江弁須	正蔵院	平成10. 3. 27	1躯	南北朝時代
17		銅造十一面観音菩薩像	村田	耕田寺	平成 2. 3. 9	1躯	南北朝時代
18		昌福寺欄間	奈土	昌福寺	平成15. 2. 4	11面	元禄年間
19		木造地藏菩薩坐像	新井	駒高福寺	平成25. 3. 25	1躯	13世紀後半
20		木造薬師如来坐像	成田	新勝寺	平成26. 8. 26	1躯	12世紀前半
21	工 芸	懸仏	大竹	観行院	昭和47.11. 3	1面	紀年銘なし
22		保目神社の懸仏	寺台	寺台保目神社宝物保存会	平成13.12. 4	1面	室町時代か
23	書 跡	国学者鈴木雅之の著書	田町	成田山仏教図書館	昭和44.11. 3	79点	民政要論略篇ほか
24		高札類	土屋	成田山霊光館	昭和44.11. 3	一括	邪宗門禁止の高札ほか
25		神山魚貫苔清水版木	土屋	成田山霊光館	昭和44.11. 3	57点	
26		幡谷家文書	赤坂	個人	昭和47.11. 3	一括	北条氏政・氏直の文書ほか（市立図書館蔵）
27	考古資料	板石塔婆	宗吾	東勝寺	昭和44.11. 3	2基	下総式板碑 康永元年(1342)銘
28		硬玉製大勾玉	幸町	個人	昭和44.11. 3	1個	郷部出土コノ字形勾玉
29		平貞胤供養碑	台方	超林寺	昭和45.11. 3	1基	観応2年(1351)銘
30		経筒	土屋	成田山霊光館	昭和44.11. 3	1口	大永8年(1528)銘
31		弥生式土器	土屋	成田山霊光館	昭和44.11. 3	1点	南関東系弥生式土器
32		竜角寺出土文字瓦	土屋	成田山霊光館	昭和44.11. 3	2点	朝布「加刀利」へら書
33		八代玉作品	土屋	成田山霊光館	昭和44.11. 3	1点	管玉の製作工程を示す遺物ほか
34		大和田玉作り資料	高岡	成田市	昭和54. 3. 1	18ヶス	古墳時代中期の玉類製作工程を示す資料
35		南羽鳥正福寺遺跡第1地点1号墳出土埴輪	高岡	成田市	平成13.12. 4	一括	ムササビ形をはじめとする形象埴輪や円筒埴輪
36		伊能図（中図）	田町	成田山仏教図書館	平成 8. 3. 19	8枚	大きいもので縦8尺6寸横4尺 小さいもので縦4尺8寸横4尺2寸
37	歴史資料	算額	中里	楽満寺	平成29. 7. 25	1点	板絵馬1面

市指定文化財

番号	種別	名 称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備 考	
38	有形民俗	竜 台 の 百 庚 申	竜 台	竜台百庚申保存会	平成 6. 3. 15	100基	宝暦2年(1752)～安政6年(1777)銘	
39	文化財	紙 本 著 色 地 蔵 十 王 図	郷 部	観音堂宝物保存会	平成10. 12. 25	11幅	江戸時代中期作	
40	無形民俗文化財	麻 賀 多 神 社 獅 子 舞	台 方 下 方	麻賀多神社神楽保存会	昭和50. 10. 6		毎年7月最終日曜日に奉納される	
41		北 羽 鳥 香 取 神 社 獅 子 舞	北羽鳥	北羽鳥香取神社獅子舞保存会	昭和50. 10. 6		毎年4月第1日曜日に奉納される	
42		西 大 須 賀 の 神 楽	西大須賀	西大須賀郷土芸能保存会	平成 8. 12. 25		毎年4月15日・16日前の土・日曜日に八幡神社、耀庵神社に奉納される	
43		伊 能 歌 舞 伎	伊 能	伊能歌舞伎保存会	平成14. 2. 5			
44	史 跡	国 学 者 鈴 木 雅 之 の 墓	南羽鳥	個 人	昭和44. 11. 3	1基	鈴木家累代の墓地内	
45		式 内 社 麻 賀 多 神 社	台 方 船 形	麻賀多神社	昭和44. 11. 3	2社	稷山社、手黒社2社	
46		利 生 塔 礎 石 群	吉 岡	大 慈 恩 寺	昭和51. 11. 11	一括	元禄16年(1703)再建の利生塔礎石群	
47		前 林 一 石 一 字 経 文 塚	前 林	個 人	昭和53. 12. 21	1基	享保20年(1735)の碑文	
48		寺 台 河 岸 跡	寺 台	個 人	昭和61. 11. 3		江戸時代、成田水運の要地	
49		奈 土 貝 塚	奈 土	個 人	平成 2. 3. 9		ヤマトシジミ主体の縄文時代後晩期の地点貝塚	
50		大 慈 恩 寺 板 碑 群	吉 岡	大 慈 恩 寺	平成 2. 3. 9	27基	南北朝～室町時代の下総型板碑群	
51		上 福 田 岩 屋 古 墳	上福田	上 福 田 区	令和 5. 5. 1	1基	7世紀後半の古墳、1辺約37m、高さ6m	
52	天然記念物	来 迎 寺 の 大 カ ヤ	松 崎	来 迎 寺	昭和46. 11. 3	1樹	目通り幹回り約4m	
53		押 畑 の 大 シ イ	押 畑	個 人	昭和46. 11. 3	1樹	〃	約9m
54		久 米 の 大 シ イ	久 米	個 人	昭和47. 11. 3	1樹	〃	約5m
55		新 勝 寺 の 大 ケ ヤ キ	成 田	新 勝 寺	昭和47. 11. 3	1樹	〃	約6m
56		水 神 の 森	北須賀	麻 賀 多 神 社	昭和58. 11. 3			
57		東 光 寺 の イ ノ マ キ	青 山	東 光 寺	昭和59. 6. 14	1樹	目通り幹回り約4m	
58		赤 荻 の 大 エ ノ キ	赤 荻	成 田 市	平成23. 3. 1	1樹	〃	約4. 3m
59	名 勝	夫 婦 松 と 芭 蕉 句 碑	滑 川	龍 正 院	昭和62. 4. 21		寛政5年(1793)銘	

記録選択

番号	種別	名 称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備 考	
1	無形民俗文化財	成 田 の お どり 花 見	成 田	成田市おどり花見保存会	昭和53. 1. 31		国記録選択 江戸時代より伝承された弥勒おどり	
2	文化財	奈 土 の オ ビ シ ャ	奈 土	奈 土 5 区 ・ 6 区	平成 4. 2. 28		県記録選択 毎年2月13日後の土曜日から日曜日に実施	

市内大学・高等学校・私立小中学校・私立幼稚園・私立認定こども園

◎大学

大 学 名	所 在 地	電 話 番 号
国際医療福祉大学 成田キャンパス	公津の杜4丁目3番地	20-7701

◎高等学校

学 校 名	所 在 地	電 話 番 号
県立成田西陵高等学校	松崎20番地	26-8111
県立成田国際高等学校	加良部3丁目16番地	27-2610
県立成田北高等学校	玉造5丁目1番地	27-3411
県立下総高等学校	名古屋247番地	96-1161
私立成田高等学校	成田27番地	22-2131

◎私立小中学校

学 校 名	所 在 地	電 話 番 号
成田高等学校附属小学校	田町10番地	23-1628
成田高等学校附属中学校	成田27番地	22-2131

◎私立幼稚園

幼 稚 園 名	所 在 地	電 話 番 号
成田幼稚園	上町633番地2	22-0059
三里塚幼稚園	三里塚御料1番地674	35-0139
はぼたん幼稚園	加良部1丁目11番地	28-1234
聖徳大学附属成田幼稚園	中台3丁目8番地	26-3371
くすのき幼稚園	船形828番地	26-6688
はしが台幼稚園	橋賀台3丁目5番地	26-5661
公津の杜幼稚園	公津の杜4丁目7番地1	27-6699

◎私立認定こども園

名 称	所 在 地	電 話 番 号
成田国際こども園	大袋379番地	85-6593
ハレルヤこども園	並木町141番地3	85-4170
はくと幼稚園	吾妻3丁目51番地	26-2331
玉造幼稚園	玉造5丁目1031番3	28-3131
めぶき保育園なりた	美郷台3丁目9番1	85-7971

令和7年度 な り た の 教 育

発	行	成 田 市 教 育 委 員 会
編	集	教 育 部 教 育 総 務 課
		〒286-8585
		成田市花崎町760番地
		電 話 0476-20-1580
発 行 日		令和7年12月
登 録 番 号		成教総25-029

